

▲昭憲皇太后御理格式の御儀あり▲御陵名伏見桃山東陵と決定の旨仰出さる▲秋田縣下黒川石油坑大噴出あり一分間八石に達す

▲日米仲裁條約公布せらる▲稅務監督局長會議開る▲海軍紀念日▲鹿兒島市に大火あり全焼二百七十戸

▲支那駐劄全權公使山座圓次郎俄然任地に逝く▲陸軍士官學校卒業舉行▲北海道後志國大磯町に大火あり全焼五百四十九戸全町七分烏有に歸す

▲海軍々法會議の判決發表せらる▲海軍進級異動あり▲警察部長會議開る▲陸軍中央幼年學校卒業式舉行▲中央線初狩驛にて汽車顛覆即死二名傷者十九名を出す▲臺灣蕃社討伐隊の一部敵と衝突し戦死負傷各二名を出す

▲昭憲皇太后五十日祭▲第一期表明▲臨時事件費公債十六萬千六百五十圓償還開始▲秋田石油の大噴出により日本石油株式連日暴騰▲英汽船エンプレス、オプ、アイルランド號セ

ントローレンス河口に於て衝突沈没し乗客千餘名溺死すとの報傳はる▲國技館大角力初日

▲兩陛下御名代の宮桃山より御歸京

▲駐支公使後任現智利公使日置益に決定▲大谷光瑞伯爵居願允許せられ法蘭光昭襲爵仰付らる▲東京ラサキ株式會社借入大運丸沖繩近海にて沈没船長以下五名溺死す

▲關東教育大會築地東京工藝學校に開る▲海軍少將小栗孝三郎第一部長勤務中部下に犯罪者を出したる廉に依り懲罰五日に處せらる▲長崎縣近海出稼中の珊瑚船破して三百名行先不明となる

▲伯爵徳川達孝侍從職終事に任ぜらる▲東京市會議員三級選舉行はる▲隅田川に開かれたる海城中學端艇競漕にて浮橋橋墜落し生徒二名溺死す

▲東京市會議員二級選舉常務會の頭領森久保作藏落選▲契約法學者として有名な英國のアンソン逝く▲大博南洋土人嫉妬の餘り其情婦を傷く

▲東京市會議員一級選舉終る非常警備の全勝▲全國保險大會第一日▲山座公使葬儀公使館庭にて執行さる

▲陸軍第二期飛行將校等所澤習志野間卒業飛行成功▲全國保險大會第二日

▲兩陛下には十三日桃山東陵へ行啓の旨仰出さる▲前愛知縣知事深野一三等名古屋控訴院にて無罪を宣告さる▲栗原宮内書記官持田帝室林野整理局長依願免官▲春秋會及び國際新聞協會大臣を帝國ホテルに招待す

▲安達駐墨公使マンザニオに軍艦出張訪問の歸途行衛不明となる報傳はる▲埼玉外十縣知事其他地方内務警察兩部長及理事官の更迭あり▲原政友會總務西園寺侯に會見の爲西下

▲近衛各兵科の賽覽演習駒澤練兵場に於て舉行▲農商務省に於ける全國實業家會同第一日

▲昭憲皇太后御命日▲天皇皇后兩陛下青山に行幸啓▲北海道釧路に大火あり罹災者救恤金八百五十圓下賜▲實業家大會第二日次で新宿御苑の拜觀を許さる海軍事件第一回公判

▲聖上皇后 陛下桃山東陵參拜の爲め御西下▲首相邸に貴衆兩院議員を招待し、海軍追加豫算額を發表す

▲皇太子殿下大正博覽會 御成

▲東京商業會議所に於て全國商業會議所聯合

▲二十五年度事務の貴衆兩院議員へ叙勳并に賜品の御沙汰あり▲アルゼンチン答禮艦長は勳三等瑞寶章を賜はる▲原敬氏新に政友會總裁となる▲立憲同志會總會を開き對議會の態度を決定す▲山座公使遺骨着京▲海軍收賄事件に關する三井物産重役公判開廷

▲政友會代議士會を開く▲議員改選後第一の東京市會開會す議長に中野武營氏當選

▲六月二十二日を以て帝國議會開會を命ずと

▲國民黨全國商業代表者を招待す

▲帝國議會開院式車駕親臨▲六百五十二萬六千圓の海軍費追加豫算帝國議會に提出さる▲日支那鐵道聯絡會議あり協定調印を了す

▲大隈首相貴衆兩院に施政方針を演説す▲立憲同志會所屬議員坂本金彌氏議員を辭す▲書家中根半藏逝く

▲衆議員豫算委員總會開る▲愛蘭自治案の修正案上院に提出さる▲山田大尉搭乗の海軍飛行機追濱に八千二百五十尺の高高度記録を作る

▲地久節並に第二皇子淳宮の御誕辰日なり▲臨時議會召集に關し憲法上の大論戰起る▲政友會海軍追加豫算費成の決議を爲す▲セルピヤ皇太子に讓位せり▲陸軍飛行將校第二期卒業式あり

▲六月二十六日 金曜、曇

▲皇后陛下大正博覽會臨啓▲小松宮大妃殿下
薨去▲海軍補充費満場一致を以て衆議院を通過
▲加州土地法問題に關する日米間交渉経過
發表さる▲佐藤愛磨氏埃甸國大使兼瑞西國
公使を幣原喜重郎氏は和蘭國、陸奥廣吉伯は
白耳義國の各公使を仰付らる。

▲吉田内藏頭主殿頭專任となり、山崎四男六
氏その後任に、長崎調度頭休職となり馬場三
郎氏その後任に、香川敬三皇后太夫事務取扱
仰付らる。宮中御清に伴ふものと稱せらる▲
スマトラ島に大震あり死者多數なり

▲六月二十八日 日曜、雨後晴
▲海軍費追加豫算貴族院を通過す。
▲六月二十九日 月曜、晴
▲埃國皇太子フランツ、フェルザナンド大公
及び同妃殿下サラエワナに於て暗殺せらる▲
全國各地小學校長殺戮さる。

▲六月三十日 火曜、晴
▲立憲同志會代議士總會あり營業稅全廢地租
五厘減の希望決議文を可決す▲伯爵界の大團
體同志會辛亥俱樂部解散す▲佐久間奎壽總
督蕃地巡視の際負傷す▲大刀山嵐一行布哇

▲七月十三日 月曜、晴
▲閑院宮季子女王殿下御大患發表▲墨國新内
閣成立の報傳はる▲東京市電氣事業資金債五
百萬圓成立▲獨逸飛行家ホーエム廿四時間連
續飛行に新記録を造るとの報。

▲七月十四日 火曜、晴
▲紛擾を極めたる滿鐵處分の一部として大塚
信太郎理事を免ぜらる▲シメンス事件の判
決ありブレ一懲役二年罰金二百圓アランデル
同十月三年間執行猶豫ヘルマン同一年三年猶
豫加賀總藏四月三年猶豫。

▲七月十五日 水曜、晴
▲製鐵所長官 中村雄次郎滿鐵總裁に新任野
村伊藤正副總裁被免▲蔽入テ！▲帝室技藝員
清風學士逝く。

▲七月十六日 木曜、晴
▲閑院宮季子女王殿下勳二等寶冠章を授けら
る▲墨西哥内閣總辭職、カルパハル 假大統領
に就任せりととの報▲佛國大統領ポアンカーレ
露國訪問の爲上途の報▲黃興桑上陸の報▲飛
行機所澤より帝都を訪問す▲空中診斷試驗施
行▲山口の歩兵聯隊兵士二百名日射病に罹り
七名斃る▲徵兵猶豫案特別委員會にて可決。

▲七月一日 水曜、晴
▲伯爵新閣隊大正會と稱す▲國際病院設立協
議首相邸に開かる▲中華民國各省都督を撤廢
し新に將軍府を新設せり

▲七月二日 木曜、晴
▲明治神宮奉祀の調査總會開かれ委員會決議
事項を承認す▲愛蘭自治修正案上院第二議會
を通過せり。

▲七月三日 金曜、晴
▲東宮殿下桃山東陵御參拜の爲め出發▲我外
交界に貢獻多かりし外務省顧問デニソン逝
く。

▲七月四日 土曜、晴
▲故小松宮妃頼子殿下の御葬儀▲前の英國統
一黨首領ジョセフ、ナムバーレン氏逝く▲
古典學の泰斗文學博士井上賴閑逝く。

▲七月五日 日曜、晴、小雨
▲東宮桃山東陵御參拜。
▲七月六日 月曜、晴、夜雨
▲築地カトリック教會に於て埃國皇儲用祭式
あり▲故デニソンに對し功勞嘉賞の御沙汰書
を賜はる。

▲七月十七日 金曜、晴
▲閑院宮季子女王殿下薨す▲支那の短期借款
償却資金八百萬圓借入申込は五國財團に拒絕
せられたりとの報。

▲七月十八日 土曜、晴
▲押川則吉製鐵所長官に任ぜらる▲學者十一
名文學五名理學二名工學二名法學一名博士授
與▲海軍收買事件の關係者三井物産重役連判
決飯田義一懲役一年六月岩原謙三同二年山本
象太郎同一年六月杉野徳哉同三月加納宗三郎
同三月及豫備造船總監松尾鶴太郎同二年會社
員長谷川直藏同四月以上の中岩原松尾山本を
除き他は何れも猶豫三年。

▲七月十九日 日曜、晴
▲昭憲皇太后百日祭▲第二期満了▲英國政
界紛糾皇帝演習艦隊檢閲を中止せられたりとの
報。

▲七月二十日 月曜、晴
▲宮内省官制改正公布▲松室致帝室會計審査
局長官に福羽逸人大膳頭に任ぜらる其他宮内
省の任免移動多し▲國澤新兵衛南滿洲鐵道會
社副總裁仰付らる▲駐支公使たるべき日置智
利公使着京▲土用に入る。

▲七月七日 火曜、晴
▲東宮桃山東陵御參拜を終へ還御さる▲愛蘭
自治案上院第二議會を通過す國民團藝協會主
催花卉品評會大正博覽會内に開會す▲七夕。

▲七月八日 水曜、晴
▲大隈首相桃山東陵の爲め夫人同伴にて西下
▲佛蘭西潛航艇演習中水雷艇と衝突して沈没
す▲軍艦日進を爆沈せんとせる海軍二等兵曹
古田三吉は軍法會議の結果死刑と決す。

▲七月九日 木曜、晴
▲國民黨總務次養毅氏岡山地方遊説の爲め出
發▲支那漢水地方に第三次革命起らんとす。

▲七月十日 金曜、晴
▲大正博覽會褒賞授與式あり。
▲七月十一日 土曜、雨後曇
▲貴族院子爵議員補缺選舉の結果秋月博英當
選▲後藤牧太千本福隆東京高師名譽教授の稱
を授けらる▲東本願寺内局更迭▲昨夜豪雨の
爲北日本各地河川汎濫。

▲七月十二日 日曜、雨後曇
▲大隈首相關西遊歴より歸京▲二萬七千五百
噸の米國戰艦ネブアタ進水の報あり▲日露役
旅順の守將ステツセル病氣危篤なりとの報。

▲七月二十一日 火曜、晴
▲愛蘭自治案に關する妥協會議の爲め朝野兩
黨の領袖パツキンカム宮に召集せらるると傳ふ
▲佛大統領及首相露都到着の報。

▲七月二十二日 水曜、晴
▲故閑院宮季子女王御葬儀▲露佛兩元首は長
時間會議し歐洲政策に關し協同一致の行動を
取ることに決せりととの報▲波斯皇帝戴冠式執
行の報▲露都に大同盟罷業起れりととの報。

▲七月二十三日 木曜、晴
▲駒形丸問題大事に至らずして解決し同船歸程
に就けりととの報▲英國御前會議失敗に歸し自
治諸法行儀みの報▲露都の罷業擴大して市街
戰開始せらると▲勸業銀行資本金四千萬圓と
するの件可決。

▲七月二十四日 金曜、晴
▲兩陛下日光御用邸へ御發登▲奥の塞に對す
る覺書愈々發送せられ明日午後六時を期し回
答を求めたりとの報▲中西監督局長辭任に伴
ふ鐵道院幹部移動。

▲七月二十五日 土曜、晴
▲立花種忠貴族院子爵議員補缺當選▲愛蘭自
治問題不調に歸すとの報▲米國は支那政府の

希望の地に兵器廠建設を約せりととの報八月十五日より巴奈馬運河に商船通航許可せらるとの報▲安藤謙介横濱市長裁可▲昨夜沖繩島暴風雨。

七月二十六日 日曜、晴(驟雨)

▲埃國塞國の回答に甘んぜず公使を引揚げ艦隊を集中し露國亦塞國を擁護して起たんとすとの報▲大隈首相横濱實業家招待會に演説して二十萬圓の減税を宣明す。

七月二十七日 月曜、曇

▲埃國愈々戦を宣し塞國亦都を遷して之に備ふ露國動員を決して雲行甚だ急▲第二次防務會議開會▲教育會徴兵猶豫改正案可決。

七月二十八日 火曜、晴

▲埃塞關係稍緩和の徴候を見る獨帝領りに戦局の局限に力め露帝多年の鬱憤を暢べんとするの意あり▲埃及王自國學生の爲狙撃せられ負傷すとの報▲皇太后宮官制廢止の件公布。

七月二十九日 火曜、晴

▲塞國汽船ダニウア河上に砲火を開き埃國昨日を以て愈々戦を宣せしと傳ふ▲英國外相調停斡旋を列強に提供せりととの報▲公爵岩倉具張依願皇太后宮主事を免ぜられ次で隱居を届出づ。

七月三十日 木曜、晴

▲埃國軍は二十九日塞國首府ベリグリードを占領したりと報あり▲參謀本部會議開かる。

七月三十一日 金曜、晴

▲獨は戦局制限を望むも露國領りに動員に力む實は自治案の討議を中止し舉國一致來るべき大亂に當らんとす▲香川敬三皇后宮太夫に任ぜらる▲侍醫兼侍醫頭西郷吉義依願本官兼官を免ぜられ宮中顧問官に任ぜらる▲久保武等四名醫學博士となる▲大正博覽會閉會

八月一日 土曜、晴

▲露國遂に軍事行動を開始し埃國鐵橋を破壊せりととの報▲歐洲形勢切迫の爲市場恐慌英國銀行金利を八分に引上ぐとの報▲兩國川開き大に賑ふ。

八月二日 日曜、晴

▲獨逸愈々露國に宣し、露亦之を宣す▲伊國同盟の拘束に従はず局外中立を宣すとの報。

八月三日 月曜、晴

▲露獨佛間愈々交戦状態に入り露は獨領に獨は佛領に侵入し各小衝突ありとの報▲塞のベルグラード埃軍に占領せらるとの報。

八月四日 火曜、晴

▲英國閣議を重ね起ちて形勢を支配せんとす▲獨艦露のリバア港を砲撃してアランド島附近の海戦に露艦敗走せりととの報▲ドリナ河附近に埃塞軍の激戦ありたりとの報▲歐洲時局に對する帝國政府の態度宣言發表せらる。

八月五日 水曜、晴

▲英國獨逸に最後通牒を送り白耳義中立の保障を求むとの報▲英は本日午前九時を以て愈々獨逸と開戦せりと報せらる。獨逸白耳義の抗拒を肯ぜず武力に訴へて路を藉らんとし更に兵を和蘭領に入れたりと傳へらる▲東洋亦戦亂の渦流に入り獨艦の既に英露汽船を捕獲するあり帝國海軍活動を開始せんとす。

八月六日 水曜、晴

▲獨地中海艦隊三隻英佛艦隊に敗れ一隻沈み他の二隻は降服せしとの報▲五隻の英佛聯合艦隊は三隻の獨逸艦隊と大西洋メーンボートランドに交戦中なりとの報▲米國調停の意を申込みたりとの報あり。

八月七日 金曜、晴

▲米國大統領ウィルソン夫人逝去す。

八月八日 土曜、晴

▲獨逸對聯合軍の大戦開始し、埃露、埃塞間も亦戦後發展との報あり。

▲白國克く侵入獨軍を擯ぐ▲テムス河口に獨逸の水雷敷設船を撃沈せる英國巡洋艦敷設水雷に觸れて爆沈す。▲獨逸皇儲フリードリッヒ親王殿下白國攻撃にて負傷の報あり▲獨逸議會五十億馬克の軍事費可決す。

八月九日 日曜、晴

▲白耳義獨逸の乞を容れて休戦を諾す▲佛軍アリサス州に突入す▲英國阿弗利加に於ける獨領トローゴ占領す。葡國と英國と一致行動を執るに決す。

八月十日 月曜、晴

▲臨時閣議あり、極東局面に於ける帝國の活躍に伴ふ議件を議定す▲佛軍ミュールハウゼンを占領す▲リエージュ遂に獨軍に占領せらる▲黒山國埃地利に宣戦すとの報▲府下日暮里村元金杉に大火あり五十餘戸焼失す。

八月十一日 火曜、晴

▲露軍埃國內に侵入して激戦し、佛國埃地利に宣戦すとの情報あり▲墨國官叛兩軍の妥協成り叛軍同國の政權を握る▲第八回文部省美術展覽會審査委員任命さる。

八月十二日 水曜、晴後曇

▲獨帝大森をアヘンに進む、英佛援軍白國

▲本日復緊急閣議あり、帝國の態度愈々確定す、次で元老大臣會議開會し臨時議會召集する事亦決定す▲獨逸騎兵隊アイースト要塞附近に白耳義と戦ひ大敗せりと報せらるも其主力既に白佛の境を壓し、佛軍ミュールハウゼンを襲て獨軍進んでロンギーオンを占む▲北越地方大水害あり。

八月十三日 木曜、暴風雨後曇

▲獨逸地中海艦隊ダーダネルスに通過、支那中立の爲め動員すとの報▲時局切迫に就き本日亦緊急閣議あり▲亞爾然丁共和國大統領サエンソン、ベニア逝けりととの報▲夜來暴風雨あり東海道地方最激し、東海道汽車不通となる六郷橋流失す。

八月十四日 金曜、晴

▲本日復緊急閣議あり、帝國の態度愈々確定す、次で元老大臣會議開會し臨時議會召集する事亦決定す▲獨逸騎兵隊アイースト要塞附近に白耳義と戦ひ大敗せりと報せらるも其主力既に白佛の境を壓し、佛軍ミュールハウゼンを襲て獨軍進んでロンギーオンを占む▲北越地方大水害あり。

八月十五日 土曜、晴

▲時局切迫に就き翌上日光より選挙あらせらる▲臨時緊急閣議の後御前會議開かる▲巴奈馬運河開通し、一汽船通航を開始す▲墨國カランザ將軍首府に入都すとの報▲帝國政府は昨日を以て獨逸に對し膠州灣の引渡、軍艦

の武装解除等の勸告通牒を發せる旨公表す。

八月十六日 日曜、晴

▲アルセリア土人軍著佛との報あり。

八月十七日 月曜、晴

▲獨逸對聯合軍の大戦開始し、埃露、埃塞間も亦戦後發展との報あり。

八月十八日 火曜、晴

▲獨逸皇帝マインツに進發、白耳義アントロイに遷都、佛國艦隊埃艦二隻をアドリアチツク海に撃沈すとの諸報あり▲佛國內閣改造せられ、ウキアニ氏總理に專任、ツウメルク氏は外務卿に其他は移動す▲太刀山一行布哇より歸朝す。

八月十九日 水曜、晴

▲獨軍長驅アラツセルを襲はんとすとの報來る▲塞獨討蕃を終へ、佐久間總督臺北に歸還す▲山川東京帝大總長兼れて京都大學總長に任ぜらる▲收賄事件の導火たりしブロー海上に奔れりと報せらる。

八月二十日 木曜、晴

▲獨逸皇帝及皇太子及二皇子マインツに入り露帝は家族を將いて莫斯科に入る▲我對獨勸告十七日獨逸外相に手渡せり▲佛僑市川門之

助死す。

八月二十一日 金曜、晴
▲佛軍速りに南獨に捷つも、獨軍又白耳義突
出の勢を見る▲羅馬法王ヒオ十世崩す。

八月二十二日 土曜、晴
▲白耳義舊都ブラツセル陥落、佛軍進んでメ
ツツに迫る、露軍全線活動開始等の諸報来る。

八月二十三日 日曜、晴後雨
▲獨逸竟に過答せず、本日正午を以て交戦状
態に入る▲臨時議會召集の詔書公布さる▲帝
國の對獨宣戰の詔書公布さる▲獨逸軍ブラツ
セル占領式を擧ぐ▲桃山東陵の起工式あり。

八月二十四日 月曜、晴
▲出征艦隊幹部名發表さる、海軍中將加藤
友三郎第一艦隊司令長官に、同加藤定吉第二
艦隊司令長官に、同少將土屋光金第三艦隊司
令官たり。

八月二十五日 火曜、晴
▲宣戰奉告祭御舉行の旨仰出さる▲白耳義の
大會戰慘烈を極め聯合軍退却第二線を守る▲
英國艦隊青島を攻撃せりとの報。

八月二十六日 水曜、晴
▲獨逸に宣戰せりとの報▲白耳義の聯合軍

苦戦中なりとの報来る

八月二十七日 木曜、晴
▲日獨關係全く斷絶す▲加藤第二艦隊司令長
官膠州灣封鎖を宣言す▲獨領トローランド
英國に降伏す。

八月二十八日 金曜、時々微雨
▲我水雷艦隊青島方面に哨戒中大暴風に出會
し幸に無事なりとの公報、来る。

八月二十九日 土曜、風雨
▲宮中賢所及伊勢神宮、神武天皇御陵に宣戰
奉告あり▲二十七日我艦隊青島を攻撃す
の報、来る▲聯合軍白佛國境に於て防戦中、
ヘリゴランド島沖にて英國前哨艦隊に襲撃せ
られて獨艦四隻撃沈せらる▲獨逸大使レンツ
ス伯退京す▲靜岡縣以東東海道各地に暴風雨
あり、東京又激し。

八月三十日 日曜、晴
▲孝明、光格、仁孝、明治四帝陵へ宣戰を奉
告す▲佛軍再び攻勢を取り、巴里愈々籠城準
備に着手すとの諸報来る▲昨暴風雨に依り各
地に出水す。

八月三十一日 月曜、晴
▲天長節なり▲佛軍左翼退却、露軍東普に連

捷、獨國ガリシアに激戦中なりとの報▲隅田
川増水千住板橋其他の方面浸水す。

九月一日 火曜、晴

▲獨軍功を急ぎ一舉に掩撃を力め、聯合軍
陣地を固守して、形勢の轉變を待つ、東普、
獨境の露軍益々進攻す▲首相官邸に貴衆兩議
院議員招待會あり内示されし臨時軍事費五千
三百萬圓内二千二百萬圓を驅逐艦十隻の建
造費と爲す▲先の大噴出を見たる黒川油田又
々日々五千石を出す油井を得たり。

九月二日 水曜、晴

▲地方長官會議開會す▲政友會國民黨中正會
各議員總會あり▲聯合軍最左翼又破れ、巴里
危急に陥る、露軍東獨逸のレンベルヒを包圍
す▲露都ペトログラードと改名す▲本年米作
第一回豫想五千七百九十九萬石、前年に比し
一割五分三厘、平年に比し一割四分五厘の増
収なりとの發表あり▲二十日なれど全國無
事なり。

九月三日 木曜、晴

▲第三次臨時帝國議會成立す▲帝國陸軍二日
を以て山東半島の一角に上陸を初めたる旨公
表▲露軍は激戦七晝夜遂にレンベルヒを陥れ

東ガリシアに於ても塙軍を摧破す、英國増援
隊白耳義上陸の報あり。

九月四日 金曜、晴

第三十回帝國議會開院式にて車駕親臨あらせ
らる▲驅逐艦白礁膠州灣頭に坐礁の公報▲獨
軍の攻撃急にして聯合軍退却、アミアン、ラ
フエールソム河畔の各陣地陥落し、巴里の攻
圍近しとの報来る▲羅馬法王ベネディクト十
五世新任せらる。

九月五日 土曜、晴

▲聯合軍益々退却しコンピエニユライムの線
に據る。

九月六日 日曜、晴

▲政友會は製糖問題に關し、政府と議會はす、
且又豫算委員會に於ける大隈首相の言論に激
し、大に反抗の氣勢を擧ぐ▲獨軍は直に巴
里に迫らす益々聯合軍の左翼を掩撃せんと
す▲英、露、佛三國は協商にあらざれば個々
には敵國と平和を締結せずと協約す▲我海軍
飛行機は再び青島の海陸を偵察し爆彈攻撃を
爲せり。

九月七日 月曜、晴

▲多少の紛議ありしにも拘らず、政友會自ら

抑制して臨時軍事費は全院一致を以て衆議院
を通過す▲獨逸軍益々旋回運動を繼續して、
聯合軍の左翼を壓迫す▲露軍益々ガリシア方
面に進撃して、更にストリー市を占領す。

九月八日 火曜、晴

▲獨軍益々聯合軍を壓迫し去りて、巴里と其
主力との連絡を断たんとす、而も獨軍はウェ
ルダン、マヨール方面に敗れリル及びケレル
モン方面にも聯合軍の勝報を聞く、形勢或は
一變せんとするが如し。

九月九日 水曜、晴

▲貴族院は臨時軍事費を可決す▲加藤外相は
貴衆兩議院に於て、英佛露三國の媾和新協約
に關聯する英國よりの覺書、(即ち英國は平時
條約關聯に於て日本の發言權に就て責任あり
と云ふ)受領の旨を發表す▲聯合軍は一齊に
反撃的活動を起す▲露軍ミカラヨウの堅塞を
奪取し、又ラッルスカを略取す。

九月十日 木曜、曇夜小雨

▲山東半島上陸の我が陸軍は萬難を排して前
進し平度に着す▲獨軍は佛國の北部の大要
塞モーブージュを陥落す▲聯合軍の反撃益々
甚しく獨軍遂に全線の退却を始め、▲露國陸

軍省特派のゲルモニース少將一行入京す。

九月十一日 金曜、晴

▲露軍優勢にしてプレスラウの陥落近し▲獨
逸米國を動かして平和運動を始め、然れども
英國は獨逸に致命的打撃を與へざるまでは媾
和せず。

九月十二日 土曜、時々雨

▲濠洲内閣更迭す、前首相フイシャー氏後繼
内閣を組織す▲露軍はトマシヨウ及びクラニ
スクに於て、獨逸聯合軍に對して全勝し、露
軍は捕虜三萬人を得多数の大砲を鹵獲した
り▲我青島攻圍軍即墨を占領す。

九月十三日 日曜、豪雨

▲佛國內には會戰繼續し、聯合軍の成功
愈々確實にして、獨軍の敗形著し、露軍トマ
シヨウを占領し、塙軍を中斷す。一塞軍亦セ
ームリンを略す▲乃木大將の二周年祭あり。
▲星野式飛行機稲毛より東京の空に飛んで、
月島に落下し搭乗者負傷す▲我軍即墨に次ぎ
て膠州占領す。

九月十四日 月曜、豪雨

▲露軍塙兵を追ひてサン河に達す▲海軍收賄
將校藤井光五郎の判決あり▲豪雨にて各地に

出水あり。

九月十五日 火曜、晴

▲獨軍遂にエイメ河、コンヒエーニエの線に退却し、聯合軍に續いて攻撃す▲我艦逐艦初春紀淡海峽にて、獨逸汽船ズイモウを捕獲す▲福島安正陸軍大將に任じ關東總督を罷め、後備役仰付られ、中將中村覺氏同都督を襲ふ。

九月十六日 水曜、晴

▲獨軍ランス、エイメの線に據りて防戦し、軍形の整理を爲さんとす▲露軍獨逸國境のグロテックを占領す。

九月十七日 木曜、半晴

▲エイメ河方面全線に互り激戦あり▲南阿英軍は西南阿弗利加の獨領ラマンスドリストを占領す、此戦英軍旅團長フインドリレ一戦死す▲獨艦エムテン印度ベンガル灣内にて、英艦五隻を撃沈す。

九月十八日 金曜、晴

▲獨軍サンカンタンの線に退き、白耳義方面の増勢を得て攻勢に轉せんとす▲我別軍は山東省南岸勞山灣に上陸す續いて王哥庄の嶺を占領す。

九月十九日 土曜、晴

▲支那政府我軍の濰縣占領を撤せんことを要求す▲白軍はアロストを回復す▲西阿弗利加の獨領カメルンのゲニアラ港は英軍に降る。

九月三十日 水曜、晴

▲獨艦エムテン智利方面に出現す▲東京市原田、宮川、田川の三助役は任期満了に就き退職す。

十月一日 木曜、小雨

▲勞山灣外掃海作業中敵の機械水雷に觸れ特務艦若宮丸損傷し、第三長門丸爆沈す▲江の島沿岸は海嘯にて船舶の被害多し。

十月二日 金曜、晴

▲ホーランド侵入の獨軍は敗退す▲濰縣問題にて支那國論沸騰す。

十月三日 土曜、晴

▲獨軍ガリシヤのタルノウを占領す▲獨軍は大本營をアインツに後退す。

十月四日 日曜、晴

▲濰縣問題に對する我國の態度強硬なるため、支那は山東鐵道を我國の管理に置く▲獨艦グナイゼナウは南洋にて佛艦を撃沈す。

十月五日 月曜、晴

九月二十四日 水曜、雨

▲大隈首相は井上侯邸にて四元老と會す▲獨國は非戦論勃發し、大動亂起る。

九月二十五日 金曜、雨

▲聯合軍の左翼益々進んで、ベロンヌ、ラツシニーに達し、包圍の形勢成らんとす▲青島獨軍の歩兵三百は北家方面を占領せる我が一部隊に來襲して撃退せらる。

九月二十六日 土曜、晴

▲英兵オスタン及びブロンに上陸し獨軍の右翼益々危殆に迫る▲濠洲軍はニューギニヤ首府を占領す▲聯合艦隊は澳領リサ島を占領す。

九月二十七日 日曜、晴

▲我青島攻圍軍は敵の第一前進陣地の總攻撃を開始し、先づ黒見、龍口の敵を撃潰す▲佛國艦隊は澳國カッタ口港を攻撃す。

九月二十八日 月曜、晴

▲我青島攻圍軍は樓山後南方の敵を撃潰し遂に浮山より孤山に互る青島の主要防禦線を陥落す▲カイセル病むとの報あり▲海軍は勞山港を占領す。

九月二十九日 火曜、雨

▲獨軍は白國及東普西の軍を撤して佛國侵入軍に増援し、大決戦の準備を爲す▲英國皇帝愛蘭自治案を裁可す▲勞山灣上陸の我軍は進んで柳樹臺附近の鞍部を占領す。

九月二十日 日曜、晴

▲龍口上陸軍は流亭附近に於て獨軍を破る、此戦に中隊長佐久間大尉戦死す▲聯合軍對獨軍のエイメ河の戦は六日に互り戦敗未だ決せず。

九月二十一日 月曜、晴

▲露の大軍はセニヤウ及びサンホル要塞を占領し、進んでヤロスラウ、ブルツエミスルを包圍す。

九月二十二日 火曜、晴後雨

▲宮内省は内國製品使用獎勵の内訓を發す▲獨軍大舉して露境ポーランドに侵入す▲我海軍飛行機は青島要塞の一部を爆發す。

九月二十三日 水曜、晴

▲英國裝甲巡洋艦三隻北海に於て獨逸水雷艇に襲撃せられて沈没す▲露軍はヤロスラウを占領す▲塞耳維軍は澳國ボスニヤ州サラエボを占領す▲青島攻撃參加の英國軍は勞山灣附近に上陸す。

九月二十四日 木曜、晴

▲我山東鐵道占領軍は青州に入る▲青島の獨兵三百は我右翼方面に夜襲を試みて撃退せらる▲露軍カルパシヤン山脈を越へて洪牙利の平野に入る。

九月二十五日 火曜、晴

▲我第一艦隊は南洋マシーヤル群島中のヤルド島を占領す▲露軍匈牙利の諸都市を占領す▲青島總督無線電信を以て自國停戦の情報を聞かんことを求む。

九月二十六日 水曜、晴

▲青島なる敵艦コルモラン外二艦沈没したる如し▲我軍は山東鐵道の終點なる濟南府停車場を占領す▲獨軍のモルトケ參謀總長に代つてフホイアイセンツ大將總指揮官となる。

九月二十七日 木曜、午前雨、午後霽

▲青島なる敵艦の氣球繫索切れて空中に飛ぶ▲白耳義政府は獨軍アントワープを總攻撃すとの報にて政廳をオスタンドに遷す▲金原明善翁特旨を以て正六位を賜はる。

九月二十八日 金曜、晴

▲アラス方面の會戦にて勝負未だ決せず、アントワープの砲撃開始せられ、巨彈、爆彈市中に落つ▲クラカワ攻撃中の露軍敗退す▲青

九月二十九日 土曜、晴

▲獨軍は東方波蘭に於て露軍を壓し、西方白

十月一日 日曜、晴

▲獨軍は東方波蘭に於て露軍を壓し、西方白

十月二日 月曜、晴

▲獨軍は東方波蘭に於て露軍を壓し、西方白

耳義ロガン市を略し、佛國內にリールを占領す。獨軍復出て、ヤロスラウを回復す。白國は政府を四度佛蘭西ハールに遷す。

▲十月十五日 木曜、晴 ▲青島非戦員百五名は日本軍に渡さる。▲獨船三隻膠州灣内に火災を起し、其一隻は沈没す。▲全國師範學校長會議あり。

▲十月十六日 金曜、晴 ▲我艦隊及び英艦は青島イルチス砲臺を砲撃し之を沈黙せしむ。ワルソウ方面に於て獨軍はワイストラ、及サン河以西を占領し露軍未だ之に克つ能はず。▲墨國カラナザ大統領を辭しアントニオウイラリアリ假りに其後を襲ふ。▲東京市會は電燈料金輕減案を議す。▲文部省美術展覽會開會す。▲吞象高島嘉右衛門氏逝く。

▲十月十七日 土曜、晴 ▲獨軍オスタンドを占領す。▲リール復聯合軍に奪還せらる。▲英艦ホーク獨逸潛航艇に撃沈せらる。▲伊太利外相サンギニリアノ公遣けり。▲船越獨逸代理公使歸朝す。▲傳染病研究所は文部省に所管換となり、北里所長等辭職を申出づ。

▲十月十八日 日曜、雨 ▲獨軍ガンカークに向ふ。▲英國巡洋艦は和蘭沖に獨逸驅逐艦四隻を撃沈す。

▲十月十九日 月曜、晴 ▲軍艦高千穂は敵の水雷に轟沈せらる。▲青島なる獨逸驅逐艦エス九十號は膠州灣より脱出す。

▲十月二十日 火曜、小雨後霽 ▲我第一艦隊の一部は南洋マリアナ、マーシャル南西カロリン諸島を占領す。▲膠州灣を脱出せる敵驅逐艦エス九十號は同灣外に坐懸す。▲獨軍のワイストラ河強行渡河は大失敗に終り、露軍追撃運動に移る。▲露軍特使サボニコフ氏着京す。

▲十月二十一日 水曜、晴 ▲歐洲方面の聯合軍は地歩確實にして獨軍反撃は功を奏せず。

▲十月二十二日 木曜、晴 ▲青島方面の我陸軍は敵三十の襲撃を退く。▲獨艦エムテン又印度洋に現れ五英艦を撃沈し、一英艦を捕獲す。

▲十月二十三日 金曜、雨後晴 ▲獨軍のニューボール攻撃は未だ成功せず。

赤十字總會あり。

▲十月二十八日 水曜、晴 ▲聖上陛下は陸軍騎兵實施學校に臨御あり。▲大隈首相は自邸に代議士等を招きて軍備擴張に關する演説を爲す。

▲十月二十九日 木曜、曇小雨 ▲第二艦隊の二艦はイルチス、小浜山二砲臺砲撃を開始す。▲南阿のホータ將軍の叛軍撃破さる。▲驅逐艦起工さる。

▲十月三十日 金曜、雨 ▲露土愈々開戦す。土艦黒海沿岸を砲撃す。▲膠州鐵道臨時條約成立す。

▲十月三十一日 土曜、雨 ▲今上天皇陛下の天長節なり。▲皇太子殿下は陸軍歩兵中尉、海軍中尉に御降任せらる。▲青島總攻撃愈々開始す。

▲十一月一日 日曜、雨後霽 ▲我軍の青島總攻撃は敵に多大の損害を與ふ。▲聯合軍形勢可なり。佛國政府は十一月二十日を以て再び巴里に還らんとす。

▲十一月二日 月曜、晴 ▲露國愈々土耳其に宣戦を布告す。▲北佛方面にて獨軍はナスミードより撤退す。▲伊太利

英國海軍の側面攻撃は大に功を奏す。▲獨軍はワイストラ左岸の陣地より退却す。▲文部省美術展覽會の受賞者發表さる。▲露國への我赤十字派遣隊出發す。

▲十月二十四日 土曜、晴 ▲獨艦カールスルーヘ號は大西洋にて英國商船を撃沈するもの十三隻に及ぶ。▲米國戰時非常稅法は確定せらる。

▲十月二十五日 日曜、晴 ▲獨軍のイーセル河強行渡河は失敗す。▲鍛冶橋開橋式あり。

▲十月二十六日 月曜、晴 ▲十二月五日を以て帝國議會召集する旨詔書あり。▲英國遠征軍參謀長ドーグラス大將逝去す。▲大正二年末に於ける日本全國現在の人口發表さる。▲薩摩藩を除き五千四百八十四萬人なり。▲故伊藤公の五周年祭あり。我軍二十五、六日を以て青島小浜山砲臺を砲撃して其備砲數門を破壊す。

▲十月二十七日 火曜、晴 ▲波蘭の獨軍は敗形著しく終にロツプを棄て、退却す。▲伊太利は間に乘じてアルバニアに活動し、スクマリ其他を占領す。▲第二十二回

軍はアルバニアのサセノを占領す。

▲十一月三日 火曜、晴 ▲在獨軍人會へ御内帑金を十萬圓御下賜せらる。▲サランドラの伊太利新内閣成立す。

▲十一月四日 水曜、晴 ▲我砲撃の爲め獨國軍艦カイゼリン、エリザベットは膠州灣内に擱沈し、同灣内の停船渠亦傾斜沈下す。▲獨軍イーゼル左岸より撤退し、更にイーアル方面より突破せんとす。▲獨逸太平洋艦隊五隻は智利沖に於て英國艦隊を襲撃す。英艦モンマウスは撃沈せられ、グツドホープは火災を起す。

▲十一月五日 木曜、小雨 ▲土耳其艦隊又黒海に露艦一隻及び十九隻の商船を撃沈す。▲傳染病研究所長には福原文部次官其所長取扱を命ぜらる。

▲十一月六日 金曜、晴 ▲我攻圍軍の青島攻撃は激甚を極む。▲英吉利及び佛蘭西は土耳其に宣戦し、英吉利はサイラス島の占領を宣言す。▲墨國再び内訌を極め、假大統領グチーレンスは首府をアアカリエンテスに移せり。

▲十一月七日 土曜、晴

▲十一月八日 日曜、晴 ▲聖上陛下は青島攻圍陸海軍へ勅語を、同英國陸海軍へ御沙汰を賜ひ、尙ほ皇后陛下、東宮殿下より日英陸海軍へ同じく御沙汰及令旨を賜ふ。

▲十一月九日 月曜、雨 ▲特別の御思召にて、青島總督以下各獨逸將校に佩劍を差許さる。▲布哇ホル、に遁竄せる獨艦ガイエル遂に武装を解除す。

▲十一月十日 火曜、風あり、寒 ▲朝鮮暴風雨御救恤として、八千六百圓御下賜あらせらる。▲アルツエミツスル方面の獨軍遂に全く敗退し、戦局一段落を告ぐ。▲印度洋に暴威を逞したる獨艦エムテンは濠洲艦隊シドニーに破撃せられ遂にスマトラの海岸ヨコス島附近に擱坐す。▲我軍青島要塞の受取を開始す。▲廣東省佛山にて革命黨起り官兵と交戦して敗る。

▲十一月十一日 水曜、晴

▲水雷艇三十三號水雷に觸れ膠州灣口にて爆沈す▲獨逸艦ケーニスベルヒ號は東阿弗利加マフィア島にて、英艦のためワイジー河口に封鎖せらる▲東京市の青島陥落祝賀會日比谷公園に開かる。

十一月十二日 水曜、晴

▲青島臨時要塞部設置せられ、岩村少將其司令官となる▲露軍クラカウを圍まんとして▲私立北里三郎博士の傳染病研究所開始さる。

十一月十三日 金曜、晴

▲大元帥陛下は特別大演習御統監の爲め大阪へ御發遣あらせられる▲天皇陛下は國際病院設立の舉を嘉せられ、御内帑金五萬圓御下賜あらせられる▲露軍は愈々アルツエミツルの第二回總攻撃を開始し、東普魯西に於てヨハネスブルヒを占領す▲白耳義方面にてイーセル河岸の爭奪戰激烈なり▲水産講習所の所管文部省に移ることに決し、同所學生奮慨して二百五十餘名連袂退學す。

十一月十四日 土曜、曇

▲大元帥陛下は大阪に御着あらせられる▲アルテック總督青島を發し、内地に向ふ▲聯合軍は白耳義にてテイミュードを奪還す。

十一月十五日 日曜、時々雨

▲英國ロバート元帥は佛蘭西にて逝去す▲青島俘虜千二百餘名門司に着す。

十一月十六日 月曜、晴

▲沖繩縣暴風雨の御救恤として、金一千圓御下賜あらせられる▲我赤十字特派看護班露都ペトログラードに着す。

十一月十七日 火曜、晴

▲英國議會は軍事費二億二千五百萬磅と新兵百萬の召集とを可決す▲英國皇太子戦地に向ふ▲アルテック總督以下將校、下士卒二百餘名門司に着す。

十一月十八日 水曜、雨

▲陸軍特別大演習は大阪城攻圍戰を以て終了す▲政友會漸く軍備擴張延期を稱へて、現内閣に反對せんとす▲文部省美術展覽會閉會す。

十一月十九日 木曜、晴

▲大元帥陛下大阪城東練兵場に大觀兵式を行はせられ、天王寺公園の賜餐會に親臨せさせ給ふ▲川崎造船所の軍艦機名主任技師藤田恒太郎其の工事の責任上自殺す。

十一月二十日 金曜、晴後曇

し、英國に援助せんことを要求したり▲横須賀水交社焼失す。

十一月三十日 月曜、晴

▲波蘭方面の激戰猶續し、埃軍クラカウ要塞に壓迫せらる▲帝國飛行協會總裁に久邇宮邦彦王殿下奉戴式あり▲同支會本部新築せられ移轉式あり。

十二月一日 火曜、晴

▲首相官邸にて貴衆兩院代表者に大正四年度豫算内示あり▲明治天皇記編輯局官制公布せらる、伯土方久元同局總裁に任命され、股野琢同編輯長に任命さる▲英國皇帝佛國に出發す、戰陣を見舞はんが爲なり▲埃國クラカウ要塞今や砲彈下にあり▲獨軍のアラス攻撃不成功なり▲函館大火あり六百八十二戸焼失す▲新兵入營す。

十二月二日 水曜、晴

▲露國皇帝戦地向ふ▲波蘭獨軍攻勢に轉じ露軍の右翼を包圍せんとす▲支那は米國と一億弗の借款を締結し全國の礦坑を擔保とせんとす▲第二艦隊横須賀に凱旋す。

十二月三日 木曜、晴

▲獨逸艦隊十餘隻北海に出動す▲埃軍は塞國聯合軍リールを回復す▲土艦ケーメン、プレスラウ露國艦隊と戦ひて敗走す。

十一月二十一日 土曜、曇

▲大元帥陛下は東京へ還幸あらせられる。

十一月二十二日 日曜、微雨

▲露獨の會戦に於て露軍有利なり▲青島俘虜の一部東京に着し淺草本願寺に入る。

十一月二十三日 月曜、晴

▲日本人の青島入市許可せらる▲羅馬尼亞は埃地利に宣戰せんとす▲米國ロックフェラー氏は北京共和醫學堂に五百八十萬元の寄贈を申込む。

十一月二十四日 火曜、時雨

▲青島占領地に軍政施行の件發布せらる▲英軍はシナイ半島を略取す▲陸駐日支那公使は本國に對日言論取締を警告す▲中橋大阪商船會社長辭任を發表す。

十一月二十五日 水曜、晴

▲聖上陛下は陸軍砲工學校卒業式に臨御あらせらる▲ワイエスツラ、アルタ河間の戰圍は益々露軍に有利なり▲英國陸軍隊はボツラを占領す▲葡葡國議會は戰局干渉を可決す▲本年麥作實收高は二千二百四萬石にして、前年より一割五分二厘、平年より三分三厘の減

收なり。

十一月二十六日 木曜、晴

▲神尾第十八師團長は青島守備軍司令官に補せられ、陸軍中將齋藤力三郎第十八師團長後任となる▲露軍ゲーメソノエを占領す。

十一月二十七日 金曜、晴

▲聖上陛下は陸軍大學校卒業式に臨御あらせらる▲波蘭の會戦に於て、獨軍大敗して一軍團の捕虜を出す、▲土軍エルセラムに追撃せらる▲英國戰艦ブルック號爆沈す▲亞細亞及歐洲方面の戰時海上保險率改訂さる▲本派本願寺前法主大谷光瑞師外遊の途に就く▲信越線關山驛にて貨車逆行車止に衝突し、十五輛粉碎さる。

十一月二十八日 土曜、晴

▲土國は英佛露に對する神聖戰爭布告を發表す▲南北米國諸邦は交戰國軍艦を其沿岸より退去せしむる交渉を進めつゝあり▲遣英日本赤十字看護班員決定發表せらる。

十一月二十九日 日曜、曇

▲獨逸艦隊カイゼル、ウイヘルム、デルグロツセ及巡洋艦ヘルタ英艦の爲め撃沈せらる▲土耳其前帝は阿刺比亞酋長に宣言書を發

▲聯合軍リールを回復す▲土艦ケーメン、プレスラウ露國艦隊と戦ひて敗走す。

十一月二十一日 土曜、曇

▲大元帥陛下は東京へ還幸あらせられる。

十一月二十二日 日曜、微雨

▲露獨の會戦に於て露軍有利なり▲青島俘虜の一部東京に着し淺草本願寺に入る。

十一月二十三日 月曜、晴

▲日本人の青島入市許可せらる▲羅馬尼亞は埃地利に宣戰せんとす▲米國ロックフェラー氏は北京共和醫學堂に五百八十萬元の寄贈を申込む。

十一月二十四日 火曜、時雨

▲青島占領地に軍政施行の件發布せらる▲英軍はシナイ半島を略取す▲陸駐日支那公使は本國に對日言論取締を警告す▲中橋大阪商船會社長辭任を發表す。

十一月二十五日 水曜、晴

▲聖上陛下は陸軍砲工學校卒業式に臨御あらせらる▲ワイエスツラ、アルタ河間の戰圍は益々露軍に有利なり▲英國陸軍隊はボツラを占領す▲葡葡國議會は戰局干渉を可決す▲本年麥作實收高は二千二百四萬石にして、前年より一割五分二厘、平年より三分三厘の減

收なり。

十一月二十六日 木曜、晴

▲神尾第十八師團長は青島守備軍司令官に補せられ、陸軍中將齋藤力三郎第十八師團長後任となる▲露軍ゲーメソノエを占領す。

十一月二十七日 金曜、晴

▲聖上陛下は陸軍大學校卒業式に臨御あらせらる▲波蘭の會戦に於て、獨軍大敗して一軍團の捕虜を出す、▲土軍エルセラムに追撃せらる▲英國戰艦ブルック號爆沈す▲亞細亞及歐洲方面の戰時海上保險率改訂さる▲本派本願寺前法主大谷光瑞師外遊の途に就く▲信越線關山驛にて貨車逆行車止に衝突し、十五輛粉碎さる。

十一月二十八日 土曜、晴

▲土國は英佛露に對する神聖戰爭布告を發表す▲南北米國諸邦は交戰國軍艦を其沿岸より退去せしむる交渉を進めつゝあり▲遣英日本赤十字看護班員決定發表せらる。

十一月二十九日 日曜、曇

▲獨逸艦隊カイゼル、ウイヘルム、デルグロツセ及巡洋艦ヘルタ英艦の爲め撃沈せらる▲土耳其前帝は阿刺比亞酋長に宣言書を發

— 115 —

【又】過去三年

十二月十日 水曜、晴
 ▲獨艦シヤレンホルスト以下三隻英國太平洋艦隊の爲めにフリーランド島沖に撃沈さる ▲獨艦肺炎に悩む。

十二月十一日 金曜、晴
 ▲衆議院豫算總會質問戦艦なり。

十二月十二日 土曜、曇
 ▲青島攻圍參加英軍司令官バーナーガストン少將入京。

十二月十三日 日曜、晴
 ▲聯合軍類に振ひ、獨軍イーブル西岸を撤退す。

十二月十四日 月曜、晴
 ▲波蘭方面の戰鬪發展、ロウイツ、イロウオの前面に激戦繼續さる。

十二月十五日 火曜、晴
 ▲福岡縣方城炭坑爆發、死者六百名。

十二月十六日 水曜、晴
 ▲佛國派遣赤十字救護班出發す。

十二月十七日 木曜、晴
 ▲天皇皇后兩陛下國產獎勵會へ内帑金三萬圓を下賜さる ▲衆議院全會一致大禮豫算及明治神宮豫算を可決す。

十二月十八日 金曜、晴
 ▲青島攻圍軍司令官神尾中將凱旋す ▲東京驛開驛式あり ▲英國埃及を保護國と宣言す。

十二月十九日 土曜、晴
 ▲貴族院大禮豫算及明治神宮奉建豫算を可決す ▲遣英赤十字救護班出發す。

十二月二十日 日曜、晴
 ▲東京驛營業を開始す。

十二月二十一日 月曜、晴
 ▲所澤第三期練習飛行將校野外飛行をなす。

十二月二十二日 火曜、曇後雨
 ▲獨軍大擧ワルサウに肉薄、露軍之に備へてヒリツアに集まる。

十二月二十三日 水曜、曇
 ▲政友會代議士會、増師及海軍擴張費否決を議す ▲曉天初雪あり。

十二月二十四日 木曜、晴
 ▲政友國民兩黨動搖し、脱黨者數名を出す ▲片山芳林侍醫頭に任ぜらる。

十二月二十五日 金曜、晴
 ▲衆議院豫算本會議議事夜半に入り、増師案を否決し、解散を命ぜらる。貴族院同時に停會 ▲露軍クラカウの圍を解く ▲獨飛行機ト一機を撃つ ▲佛議會新軍事費三億四千萬磅可決。

十二月二十六日 土曜、雨後曇
 ▲東宮殿下沼津に御遊幸せらる ▲總選舉期日の詔書發布さる。

十二月二十七日 日曜、晴
 ▲ワルサウ方面戰鬪激烈を極む。

十二月二十八日 月曜、晴
 ▲露帝戰地に着御あり。

十二月二十九日 火曜、晴
 ▲明治神宮御造營費公布 ▲豫算踏襲の勅令出づ ▲深川に疑似黒病發生。

十二月三十日 水曜、晴
 ▲青島攻撃加航空隊及電信隊凱旋。

十二月三十一日 木曜、晴
 ▲露國一般アルコール性飲料販賣を禁止す ▲内外多事の 大正三年暮る。

大正四年

一月一日 金曜、晴
 ▲大正四年を迎ふ ▲南品川出火四十餘戸を焼く。

一月二日 土曜、晴
 ▲英戰艦フーミナル爆沈す。

一月三日 日曜、晴
 ▲民間飛行家荻野常三郎氏京都深草附近に墜落、大橋助手と共に惨死す。

一月四日 月曜、晴
 ▲政始式あり、各官廳御用始。

一月五日 火曜、晴
 ▲ガリシヤ方面軍演亂す ▲東京大相撲新春附の發表あり。

一月六日 水曜、晴
 ▲土軍ハカリミッシュに大敗す。

一月七日 木曜、雨後吹雪
 ▲大浦内務、河野農商務兩大臣親任式あり ▲出羽大將巴運河開通式及巴博開會式に我政府を代表參列仰付。

一月八日 金曜、曇
 ▲地方長官の交代あり。

一月九日 土曜、晴
 ▲伏見宮貞愛親王殿下、長谷川好道、川村景明の三大將元帥府に列せらる ▲大石正巳氏政界を隱退す。

一月十日 日曜、晴

十二月十八日 金曜、晴
 ▲佛軍躍進バインハハブトを奪還す。

一月十一日 月曜、雨後晴
 ▲獨艦フオンデルタン伯刺西沖に轟沈さる ▲陸軍中將有坂成章薨す。

一月十二日 火曜、晴
 ▲聖上陛下御遊幸の爲め葉山に行幸遊ばさる ▲甲武線値上反對の聲高し。

一月十三日 水曜、晴
 ▲伊豆伊東に大火あり百餘戸を焼く。

一月十四日 木曜、晴
 ▲伏見宮貞愛親王へ内大臣府出仕御解任の沙汰あり ▲伊國各地地震死者八千に及ぶ ▲寒氣酷烈各地に雪害多し。

一月十五日 金曜、晴
 ▲露軍オルチ附近に土軍を撃破す ▲埃洪國外相辭任、プリアン之を襲ふ ▲醫科大學長青山胤通傳染病研究所長兼任を命ぜらる ▲東京大相撲初日。

一月十六日 土曜、晴
 ▲聯合軍獨軍の逆襲に遇ひ、エーヌ南方に退却す ▲東北各地は大雪降る。

一月十七日 日曜、晴
 ▲大隈伯後援會茶話會、上野精養軒に開かる

一月十八日 月曜、晴
 ▲東京市電燈統一問題仲介者淺澤男、森村翁都下新聞通信記者に仲介案を内示す ▲山屋中將統率南遣艦隊橫須賀に凱旋す。

一月十九日 火曜、晴
 ▲隈伯後援全國大會同伯私邸に開く。

一月二十日 水曜、晴
 ▲日置公使袁總統を訪問對支問題の交渉を開始す。

一月二十一日 木曜、晴
 ▲獨飛行船英國を奪す。

一月二十二日 金曜、曇後晴
 ▲露の一水雷艇土國汽船十二隻を轟沈す ▲土寒に入る、案外高温。

一月二十三日 土曜、晴
 ▲皇后陛下下葉山へ行啓 ▲地方長官會議開會さる。

一月二十四日 日曜、晴後曇
 ▲電燈統一案協議さる。

一月二十五日 月曜、晴
 ▲霧島、榛名兩艦公試運轉を行ふ。

一月二十六日 火曜、晴
 ▲米價調節の勅令公布 ▲安東、中村兩中將陸軍大將に陞任、其他任補異動多し ▲英獨艦は

【又】過去三年

北海に會戦、獨逸アルユウヘル等轟沈さる。

一月二十六日 火曜、晴

▲陸軍大將大久保春野男薨す ▲葡國內閣總辭職をなす。

一月二十七日 水曜、晴

▲電燈統一不調 ▲暹羅王弟カムカンテツト殿下及同妃來朝す。

一月二十八日 木曜、雨

▲支那外交總長孫寶琦辭し、陸徵祥襲任す ▲獨逸は穀物、肉類供給取締規則を制定す。

一月二十九日 金曜、晴

▲墨國又政變カランザ將軍入都す、

一月三十日 土曜、晴

▲露軍東普に攻勢を執る。

一月三十一日 日曜、曇

▲伊國新に豫備兵の動員を行ふ ▲巴奈馬運河開通式延期さる。

二月一日 月曜、微雨後曇

▲ツクラ、ウイシユコフ間の激戦尙ほ繼續し露軍優勢せり ▲獨逸艦隊愛蘭近海及アープル附近に現はれ商船數隻を撃沈せり ▲山屋中將は第三艦隊に村上少將は第二艦隊に各司令官に補せらる ▲岩倉公邸競賣に附せらる。

二月二日 火曜、曇夜雨

▲ホルツモフに激戦あり ▲露軍ダブリツツを攻略せり ▲暹羅皇弟御退京あらせらる ▲上田東京帝大文科大學長歸朝す。

二月三日 水曜、曇

▲阪谷東京市長電燈問題の責を引ききて辭職す ▲昨年度の米實收は五千七百七千餘石にして平年作に比し一割二分五厘の増収なりし。

二月四日 木曜、雨

▲節分、各所の神社佛閣に於て追儺式舉行せらる ▲英國下院再會さる ▲夕刻より強風雨小被害あり。

二月五日 金曜、曇微雪

▲軍艦淺間墨西哥沿岸に於て坐懸せり ▲加藤海軍中將教育本部長に名和中将第二艦隊司令官に補せらる ▲米國下院に於て無學者入國禁止法案否決さる ▲奧太利皇儲暗殺者處刑さる。

二月六日 土曜、晴

▲埃軍ダブルノウを撤退し、ツクラ、ウイシユコフ方面の露軍優勢せり ▲横須賀に於て驅逐艦隊の進水式行はる ▲力士風吉田家より日

二月七日 日曜、晴

▲神戶にて拿捕されたる諸威汽船クリスチヤンボース佐世保に護送さる ▲佛國に向へる日本赤十字救護班巴里着。

二月八日 月曜、晴

▲アツラ左岸を攻略せる露軍更に進軍を續けつゝあり ▲獨逸藏相キューン辭職し、ヒルフ、フライヒ其後を襲へり。

二月九日 火曜、微雨夜強風

▲露軍益々有利にしてカミオン及メソラホルグに敵陣地を奪へり ▲坐懸せる軍艦淺間幸に沈没に至らず目下救助作業中なり ▲工醫農文各新博士九十四名に對し博士號授與式舉行せらる ▲永平寺貫首森田悟由禪師入寂せり。

二月十日 水曜、晴

▲土軍蘇士運河附近より總退却を爲せり ▲樞密院に於て地租及營業稅改正に基く選舉權失格者を認むる緊急勅令を可決す。

二月十一日 木曜、雨

▲二千五百七十五回の紀元節を祝ふ ▲渡米せる出羽大將の一行ウ大統領と白館に於て正式會見 ▲日支交渉問題に關し支那留學生神田青

年會館に會す。

二月十二日 金曜、

▲英國議會兵員三百萬に對する軍費を可決す ▲墨國駐在西班牙公使國同國より退去を命ぜらる ▲總持寺貫主石川素童師曹洞宗管長となる。

二月十三日 土曜、晴

▲英國海軍飛行機三十四臺白蘭獨逸陣地を襲ふ ▲諏訪湖に於て水上騎馬演習及凍水爆發試驗行はる。

二月十四日 日曜、晴

▲獨逸軍再び英蘭海岸に於て中立國船舶危險の責に任ぜざる旨宣言せり ▲驅逐艦松及柏號那崎三菱造船所にて進水す ▲北銀事件に關し岩下清周氏拘引さる。

二月十五日 月曜、晴

▲衆議院議員選舉資格に關する緊急勅令公布さる ▲上原陸軍大將、橋本中將以下七中將の陞任と同時に陸軍幹部に大異動あり ▲驅逐艦檣佐世保にて進水す ▲細川侯邸に於て新横綱鳳に對し免許狀授與式行はる。

二月十六日 火曜、晴

▲驅逐艦杉號大阪鐵工場櫻島工場にて進水す

【又】過去三年

▲醫學博士濱田達氏逝く ▲驅逐艦浦風英國にて進水せり。

二月十七日 水曜、晴

▲祈年祭執行さる ▲文部省にて大典奉祝歌詞を募る。

二月十八日 木曜、曇

▲山梨陸軍少將東京に凱旋せり。

二月十九日 金曜、雨雪後曇

▲新嘉坡印度兵の暴動漸く鎮壓さる ▲政友會所屬上院議員、前代議士及各委員の聯合會開催席上原總裁の演説あり。

二月二十日 土曜、晴夜微雨

▲巴奈馬運河博覽會開會式舉行さる ▲驅逐艦楓號舞鶴海軍廠にて進水せり ▲日本銀行總會舉行さる ▲岩村通俊男薨す。

二月二十一日 日曜、晴

▲佐竹義生侯薨す。

二月二十二日 月曜、晴

▲日置公使陸外交總長と第三次の正式交渉を爲す ▲獨逸艦艇活躍し中立國汽船頻々厄に罹る ▲憲兵隊長會議開會さる ▲九段招魂社に於て熊本龍城記念會舉行さる。

二月二十三日 火曜、曇夜雨

▲所澤大阪陸軍大飛行舉行され、操縦者澤田、阪元兩中尉靜間を経て名古屋に着陸本日同地に一泊せり。

二月二十四日 水曜、晴

▲阪谷東京市長の辭職許可さる ▲名古屋以西の大飛行は強風の爲め延期。

二月二十五日 木曜、晴

▲桑港博覽會日本館落成式舉行さる ▲獨逸航艇英國海上に活動し、船舶大損害を被る ▲下關市及び千葉縣に大火あり ▲日置公使陸外交總長と第四次の日支交渉を爲す。

二月二十六日 金曜、雪

▲デーダホルス海峡砲臺聯合軍の爲め、陥落せり ▲蠶絲業者諮問會農商務省に於て開催さる ▲名古屋に滞在申なりし澤田、阪元の兩飛行中尉風を冒して出發、澤田中尉は目的地大阪に到着するも、阪元中尉は強風に襲はれて京都に下る ▲三井重役の海軍贈賄事件控訴公判開廷さる ▲この日帝都降雪夜に入りて積むこと數寸。

二月二十七日 土曜、雨

▲驅逐艦梅號川崎造船所にて進水せり ▲前日京都に下降したる阪元中尉大阪に到着す。

二月二十八日 日曜、晴
▲驅逐艦桐城の進水式を浦賀船渠にて舉行
日置公使陸外交總長と第五次正式會見を爲す。

三月一日 月曜、晴
▲明治神宮獻木取扱方發表さる ▲昨秋來朝せる露國特使ゲルモニウス小將退京せり ▲所澤大阪間大飛行復航の途に就く操縦者眞壁武田の兩中尉大阪を發して名古屋に着す。

三月二日 火曜、晴
▲北波蘭に侵入せる獨逸軍にルブラスニシユに破れ國境まで撃退さる ▲復航飛行名古屋を發して、武田中尉は無事所澤に歸着せるも、眞壁中尉は故障の爲あ厚木町附近に下降す ▲新劇の先覺者文士土肥春曙氏逝く。

三月三日 水曜、晴
▲蠶絲救濟案樞密院委員會にて否決さる、依て政府は更に民間に救濟組合を組織せしめ之に向つて五百萬圓の責任仕出を爲す事に決す ▲途中下降せる眞壁飛行中尉所澤に歸着す茲に京阪間大飛行終了せり。

三月四日 木曜、晴
▲聯合艦隊ターダネルス砲撃を續け數個の砲臺を破壊し、露軍大にガリシヤ方面の境軍を破れり ▲驅逐艦桂號吳工廠にて進水す ▲龜山德島縣知事郷里岡山に病を得逝く。

三月五日 金曜、雨
▲驅逐艦浦崎崎造船所にて進水す、是にて急造驅逐艦十隻全部の進水を終る ▲末松借一郎氏德島縣知事に任ぜらる ▲海軍飛行將校馬越中尉五時間以上の長飛行記録を作る ▲初春なるに雷聲を聞く ▲故男爵松田正久氏の一年祭あり。

三月六日 土曜、晴
▲第七次日支交渉開る ▲文部省は紛擾中なりし眞言宗豊山派の岩畑管長を解職し、權田雷斧に同職事務取扱を命ず ▲第一高等學校に野球大會あり自軍捷つ ▲海軍飛行機追濱附近に練習中海中に墜落し、搭乗者安達大尉、武部中尉、柳瀬一等水兵慘死す ▲英國艦隊再びターダネルス要塞の攻撃を行ひ、又スマイルナ砲臺を沈黙せしむ。

三月七日 日曜、曇
▲露軍已にプロブイオ首府、ツエルノウイシ及びガリシヤのスタニスラウを奪還し、又たニイメン河西方に進出して、形勢頗る改善す

三月八日 月曜、曇後晴
▲日支交渉を進捗せんため、毎週三回開議に決す ▲新潟縣長岡中學に失火あり、焼失す。

三月九日 火曜、晴
▲日置公使陸外交總長と第八次會見をなす ▲墨國擾亂に關し、米國は抗議をカランザ將軍に送り、軍艦を同國に増派せり ▲午前に微震あり、東北地方は稍強し ▲永平寺貫首選挙あり、開始され西野石梁、日置默仙、福山默童の三師競争開始され、激烈を極む。

三月十日 水曜、晴
▲奉天戦記念日に際し、陸軍奨學金として特御内帑金壹萬五千圓を御下賜あらせらる ▲支那との交渉不進捗に就き同國への出兵宣傳はる帝國は強硬の態度を執るが如し ▲長野縣犀川沿岸に地益々甚しく崩壊土壤同河を塞ぐ ▲奉天戦の記念日なれど諒閣中なれば儀式なし。

三月十一日 木曜、晴
▲希臘新内閣成立す、グワナリス首相兼陸相に任じ、ソグラフィオス外相たり ▲米國再び在墨米國民に退去を促し、且二軍艦派遣を命ず ▲東京商業會議所役員の選挙あり、會頭に中野武警氏重任し、副會頭に杉原榮三郎氏及び藤山雷太氏新任す ▲米國宗教團體に著す ▲我日置公使は陸外交總長と第九次の會談をなす ▲陸軍中將本多忠純氏卒す。

三月十二日 金曜、晴
▲新に近衛師團長に補せられたる陸軍中將秋山好古氏入京す ▲緬甸豪商サッターマジャー・ル氏の晩餐會精養軒にて開會。

三月十三日 土曜、雪
▲希臘新内閣は中立態度の維持を宣言せり ▲英國假裝巡洋艦又た獨逸潛艇に撃沈せらる ▲海軍殉難三勇士安達大尉、武部大尉、柳瀬一等水兵の遺骨東京に着す ▲雪あり、晨より晩に至る ▲日支交渉の會見あり ▲露國宮廷派の重鎮として、復活の機會を窺ひ居りし露國會議々長ウイツテ伯逝く。

三月十四日 日曜、晴
▲獨逸北ホルランドに猶ほ攻勢を執り露軍リプスクに集中す ▲海軍遺難三勇士の葬儀あり、築地水交社より送られ青山斎場に祀らる

▲東京下谷中坂町玉林寺に於て曹洞宗僧侶の大會あり會するもの二百餘名。

三月十五日 月曜、晴
▲葉山御遊樂中の兩陛下には十九日を以て東京へ還幸即啓出さる ▲第十師團の混成第八旅團字宿少將之を率ひ、第十七師團の先發隊と共に駐支陸軍の我交替軍として支那出發の途に就く ▲東京各銀行の利子五厘利下げに決定す ▲東京電燈會社小石川出張所に賊あり主任以下七名を殺傷す、犯人逃走して知れず ▲青島に於て水雷敷設艇掃海中爆沈す ▲歐洲戰亂のため、内地製粉の海外輸出激増のため十五日より食パン一片に就き一錢値上さる。

三月十六日 火曜、晴
▲第十一次日支交渉の會見あり滿蒙問題解決すと稱せらる ▲大隈首相大阪に出發す、各驛に於て汽車々々より演説す、是れ實に日本に於ける總理大臣の選挙演説の嚆矢なり ▲姫路混成旅團は神戸湊川神社に詣て出發す ▲フオークランド島沖の英獨大海戦に於て通算せる獨逸トレステン(三、四四四噸)は、英艦ケン(九、八〇〇噸)グラスコウ(四、八〇〇噸)外一隻のために、南米アナルナンアス島附近

に於て、撃沈せらる ▲衆議院議員候補者たる雜誌「大國民」社長法學士辯護士平渡信氏は高橋男名義利用の手法偽造にて拘引さる。

三月十七日 水曜、晴
▲大隈首相大阪より轉じて金澤へ向ふ ▲日置駐支公使は郊外散策の途次落馬して負傷す、二、三日後には起居し得べきも全快迄には二週間を要すべしと云ふ ▲墨國擾亂の爲め安達大使は同都を引揚げたり ▲支那の艦隊は第一艦隊長林寶彝及び第二艦隊長徐振鵬の下に長江沿岸にて示威運動をなす。

三月十八日 木曜、晴
▲日置公使負傷の爲め當日會休止す。

▲香川皇后太夫薨去せらるる危篤に際し特に従一位に叙せらる。 ▲政友會最終の公認候補者を發表す、累計二百一名なり。

三月十九日 金曜、晴
▲天皇、皇后兩陛下下葉山より宮城へ還御遊さる ▲大隈首相京阪及び金澤遊説を終へ歸京す ▲李王職官制改正され職員減少す ▲彼岸入り。

三月二十日 土曜、晴

▲本日より小幡書記官日置駐支公使に代りて談判を繼續す▲露軍東魯西に侵入しメーメル要塞を占領す。

▲三月二十一日 日曜、晴 ▲福岡在の獨逸俘虜を元寇記念碑建設工事に使役許可決定す。

▲三月二十二日 月曜、晴 ▲春季皇靈祭なり▲獨逸飛行船巴里市及同市郊外を襲撃せり。

▲三月二十三日 火曜、雨後霽 ▲陸外交渉長我公使館に來りて、交渉談判を繼續す▲露軍の攻圍六ヶ月を以て、ブルツエミツスル要塞遂に開城す▲侍従次長伯徳川達孝皇后太夫事務取扱を命ぜらる。

▲三月二十四日 水曜、晴強風 ▲總選挙期愈々明日に迫り、各候補者狂奔す。大隈首相部下三個所に演説す▲露軍邊に侵入せし獨領メーメルより退却す▲文學博士芳賀矢一帝國學士會院長仰付らる▲静岡市八十餘戸焼失す。

▲三月二十五日 木曜、晴 ▲日支交渉のため上海に於て日貨排斥盛なり▲洋行中なりし和田三造畫伯歸る▲選挙當日

職中の非違に依り豫審に附せらる。

▲四月四日 日曜、曇後晴 ▲勃牙利の國境軍、塞爾維國境に侵入し撃退せらる。

▲四月五日 月曜、曇 ▲全國各師團長參内し、謁見す。千種間に於て御陪食あり▲丸尾錦作に代り、第二高等學校長三好愛吉皇子傳に任ぜらる▲塊軍大敗し露領ベツサラビヤ侵入の計畫敗る▲土國巡洋艦メナーエ黒海にて沈没す▲陸軍飛行將校第三期生所澤宇都宮開卒業飛行に於て一機破損の外無事に歸還す▲政友會聯合懇親會を芝三線亭にて開催す▲日支鐵道聯絡會議北京に開く。

▲四月六日 火曜、晴 ▲日置公使快癒す、本日より支那外交部に赴きて交渉談判を開始す▲英國王室酒類使用中止を公布せり▲全國師團長會議開始さる▲今曉微霞。

▲四月七日 水曜、曇後雨 ▲四千三百萬圓の内外國債償却公示さる▲桑港博覽會のため米國に遣したる特使出羽大將歸朝す▲寺内朝鮮總督歸朝す。

▲三月二十六日 金曜、晴 ▲第二回北支那出動部隊神戸に着す▲市部開票の結果政友會の形勢甚だ悪し▲曹洞宗永平寺後董問題にて競争甚だ盛なり。

▲三月二十七日 土曜、晴 ▲總選挙全國郡部開票の結果、政友會代議士激減し、政府黨の大勝に歸す▲我公使館にて日支交渉の會見あり▲郵便貯金四分八厘に利上となる。

▲三月二十八日 日曜、晴 ▲山東省即墨附近に於て、我商人射撃に會ひ、其一名死亡す。▲紀州中牟婁郡百三十餘戸焼失す。

▲三月二十九日 月曜、曇夜小雨 ▲醫學博士野口英世に學士院賞授與決定す。

▲三月三十日 火曜、晴 ▲五月十七日を以て臨時議會を召集し開期を二十一日と爲す旨詔書下さる▲引續き我公使館に於て日支交渉開く▲朝鮮總督府官制改正公布さる▲工學博士二名、醫學博士二名、法學博士一名、理學博士一名に博士號授與さる▲新任第三師團長大庭中將露國より歸朝す

▲四月八日 木曜、晴 ▲淺田大將、閑院大將宮、一戸大將陸軍特命檢閱使仰付らる▲在米の獨逸假裝巡洋艦リンブツ、アイテル、フリードリッヒ抑留に決定せらる▲全國産米改良會議第一日なり▲墨田川に早稲田大學對明治大學の端艇競漕あり故障あり勝敗なし▲日支會見交渉あり

▲四月九日 金曜、晴 ▲佛軍ウエルマン方面に進攻す▲貴族院議員子爵水莊宗義薨去す。

▲四月十日 土曜、晴 ▲日支交渉の會見あり▲瑞茂號没収公布さる▲大隈首相の貴族院議員招待午餐會あり。

▲四月十一日 日曜、雨 ▲昭憲皇太后御一年祭あり、諒閣あくる▲芝増上寺宗廟御忌法要第一日なり▲府下日暮里村八十餘戸焼失す▲英船ミネソタ號周防灘にて坐礁す。

▲京城縣氣仙沼町全燒す。

▲三月三十一日 水曜、晴 ▲貴族院多額納稅議員の補選選挙を行ふべき旨詔書發布さる▲皇后陛下學習院女子部卒業式に臨啓遊さる▲東宮殿下御遊樂地沼津より還啓遊さる。

▲四月一日 木曜、好晴 ▲熊谷石川縣知事依願免官となり、其結果二三知事及部長異動す▲井上角五郎選挙法違反豫審終りて有罪に決定す▲各小學校入學式あり▲有樂橋開橋式あり▲淺草觀音開帳す▲我公使館に於て日支交渉の會見あり。

▲四月二日 金曜、曇夜小雨 ▲聖上陛下學習院卒業式に臨啓せらる▲大正四年度實行豫算發表す▲進歩俱樂部解散し、無所屬團に合す▲山梨多額納稅議員補選選挙あり、網倉半輔氏當選す▲曹洞宗永平寺後董に福山默堂氏當選す▲印度シムラに叛徒起り撃退せらる。

▲四月三日 土曜、雨 ▲神武天皇祭なり▲聖上出御萬機親裁せらる▲日支交渉を開く全般討論續行す▲南阿軍西南阿弗利加獨領を占領す▲平岡前樺太長官在

於て東京市長候補を辭退す▲新代議士鈴木萬次郎選挙法違反により令狀執行さる▲山口縣字部炭坑崩壊し坑夫二百餘名生死不明とな

▲四月十三日 火曜、晴 ▲昭憲皇太后御靈代皇靈殿に御奉遷あり▲青島臺灣等に陣没せし者其他千三百九十五名靖國神社へ合祀告示さる▲夜地震二回あり。

▲四月十四日 水曜、曇朝小雨 ▲朝鮮王族及寺内總督等宮中御陪食あり▲地方長官會議第一日なり、▲大隈首相訓示あり▲立憲同志會に於て新代議士顔合せの懇談會を開く▲無所屬團體第一回の代議士總會あり▲福島大將騎馬旅行より歸京す▲京城縣伊具郡角田町八十餘戸焼失す。

▲四月十五日 木曜、曇夜雨 ▲東宮殿下近畿へ行啓遊さる▲日支會見交渉あり。東蒙問題に入る▲大隈首相の政府黨代議士招待會あり▲總選挙後第一回の政友會代議士懇親會あり▲市川清等五名へ醫學博士號授與さる▲福岡縣門司大里製粉會社燒失す。

▲四月十六日 金曜、晴 ▲中正會代議士懇親會あり▲芝増上寺に於て

職中の非違に依り豫審に附せらる。

▲四月四日 日曜、曇後晴 ▲勃牙利の國境軍、塞爾維國境に侵入し撃退せらる。

▲四月五日 月曜、曇 ▲全國各師團長參内し、謁見す。千種間に於て御陪食あり▲丸尾錦作に代り、第二高等學校長三好愛吉皇子傳に任ぜらる▲塊軍大敗し露領ベツサラビヤ侵入の計畫敗る▲土國巡洋艦メナーエ黒海にて沈没す▲陸軍飛行將校第三期生所澤宇都宮開卒業飛行に於て一機破損の外無事に歸還す▲政友會聯合懇親會を芝三線亭にて開催す▲日支鐵道聯絡會議北京に開く。

▲四月六日 火曜、晴 ▲日置公使快癒す、本日より支那外交部に赴きて交渉談判を開始す▲英國王室酒類使用中止を公布せり▲全國師團長會議開始さる▲今曉微霞。

▲四月七日 水曜、曇後雨 ▲四千三百萬圓の内外國債償却公示さる▲桑港博覽會のため米國に遣したる特使出羽大將歸朝す▲寺内朝鮮總督歸朝す。

徳川家康三百年忌法要第一日なり▲杉浦重剛選出あり

▲四月十七日 土曜、晴夜小雨
▲大隈首相の新聞記者招待茶話あり▲國民黨代議士懇親會あり▲米國大使カスリー歸國す

▲四月十九日 月曜、曇後雨
▲宮中に於て御大禮期日御奉告祭あり、来る十一月十日を以て即位の禮同十四日を以て大嘗祭を行はせらるる旨告示さる▲川崎造船所建造機名、三菱造船所建造霧島の兩戦艦巡洋艦完成し、海軍省へ引き渡さる▲大隈首相邸に園遊會あり▲日支鐵道連絡會議協定し調印す

▲四月二十日 火曜、曇
▲練習艦阿蘇、宗谷遠洋航海に出發す▲樞密院顧問官男爵松平直義▲ロイテル男亡妻を追ひて自殺す

▲四月二十一日 水曜、曇
▲伊勢神宮及び神武天皇及び先帝山陵に御大典期日奉告式あり▲英軍イーブルを支配すべき高地を占領す▲陸軍第三回飛行將校卒業式及び航空船雄飛號の命名式あり▲在留五十年

の個人ホルデン氏叙勳さる▲和算學大家遠藤利貞逝く

▲四月二十二日 木曜、雨後曇
▲聖上伏見宮殿下臨幸あらせらる▲支那に對する我改訂交渉案日置公使に通知せらる▲安達駐露公使墨都退却を命ぜらる▲首相邸に國民黨員招待午餐會あり▲警視廳は新聞號外取締を通告す▲航空船雄飛號帝都を訪ふ

▲四月二十三日 金曜、冷氣甚し
▲聖上瀨野宮に行幸、觀櫻會を備さる▲定例閣議に於て對支態度絶對強硬に決す▲大隈首相日支交渉に鑿み、閣員の旅行を止む▲故松平正直男爵遺料三千圓下賜さる

▲四月二十四日 土曜、晴
▲本日支那に新交渉案提示の豫定都合に依り延期となる▲行幸啓奉規則改正待從武官長に代り、侍從長御陪乘のことなる▲勳章親授あり、三浦梧棲、濱弘一、山根武亮に旭日大勳章授けらる▲首相邸に政友會員招待會あり▲國民義會主催の支那問題各派大懇親會樂地精養軒に開催せらる▲基督教協同傳道大會日比谷公園に開かる

▲四月二十五日 日曜、晴
▲淺間救助の爲め派遣の常磐艦須賀に歸着す▲元湯島聖堂にて第九回孔子祭あり▲埼玉縣大宮町法曹會懇親會席上に、飛行將行判事二名を斬る▲彌生港起工式あり

▲四月二十六日 月曜、晴
▲日置公使我が最終交渉案を提して陸總長と會す▲馬越海軍中尉追濱より小田原、東京、千葉方面を周回飛行し繼續時間約十時に及ぶ

▲四月二十七日 火曜、雨
▲兩陛下より東京中央報徳會及び大日本報徳社へ各五千圓御下賜あらせらる▲貴族院議員子爵曾我祐準樞密顧問官に任命さる▲英軍ダイダネルス海峽攻撃を再開し、軍隊上陸前進中なり▲大日本水産會總會あり▲靖國神社臨時大會第一日なり▲島根縣能義郡廣瀬町四百戸焼失す

▲四月二十八日 水曜、晴
▲佛蘭西軍ダイダネル海峽入口カレール砲臺を占領す▲支那農商務總長張謇辭任し、周自齊其後任に、周學熙財政總長となる▲桑港博覽會副總裁瓜生外吉男歸朝す

▲四月二十九日 木曜、晴快
▲答す▲獨軍露國軍港リバウを占領す

▲五月十日 月曜、曇夜少雨
▲川崎造船所にて戦艦伊勢起工式あり▲貴族院議員古莊嘉門卒す

▲五月十一日 火曜、雨
▲シルタニア撃沈に憤慨し、英國リヴァプール市の獨逸商店悉く粉砕焼毀せらる▲五月場所大相撲番附發表す。梅ヶ谷、玉椿等東方に朝潮、綾川、綾浪等西方に轉す。兩國、大錦と浦の濱、綾川と各東西に關脇小結たり

▲五月十二日 水曜、晴後雷雨
▲五島沖に坐懸したる軍艦筑摩佐世保に颯航す▲帝國軍人後援會總會あり▲午後雷雨あり

▲五月十三日 木曜、晴後少雨
▲聖上桃山御參陸の爲め西幸し、名古屋に御駐泊あらせらる▲政友會幹部會に於て對議會策を議定す▲資本金百萬圓の中日銀行設立決定す

▲五月十四日 金曜、晴
▲聖上桃山御參拜、午後御還幸の途に就かせられ、名古屋に御駐泊せさせ給ふ▲支那我交渉を依違し、爾後沿岸海及び島嶼の租借

▲靖國神社臨時大祭第三日、聖上行幸御禮拜あり▲佛國裝甲巡洋艦レオン、ガンベツタ號伊太利トランド海峽附近に於て機械水雷に觸れ沈没す

▲四月三十日 金曜、晴
▲南遣艦隊日進横須賀に歸着す▲三井重務贈賄事件控訴判決あり、各被告刑期輕減執行猶豫となる

▲五月一日 土曜、晴夜雨
▲明治神宮建設社格仰出さる▲佐久間幸海總督願に依つて本官を免じ、陸軍大將男爵安東貞美其後任となる▲首相邸に京濱實業家招待會あり▲日支會見にて支那我提案の重要事項を拒絶す

▲五月二日 日曜、曇少雨
▲奈良東大寺大佛供養第一日なり

▲五月三日 月曜、晴
▲對支協議の爲め外務省會議今曉一時半に及ぶ、臨時閣議に於て明日元老會議を開くに決す▲帝國軍軍費除籍公表さる▲八十八夜なり

▲五月四日 火曜、晴
▲對支問題にて元老大臣會議開かれ、引續き

▲五月八日 土曜、晴後曇
▲支那總統府會議懇々我最後通牒を承諾するに決せり▲壞軍再びタルノ、ゾグラを占領し露軍東方に退却中なり▲三萬噸の英國巨船ルシタニア號愛蘭沿岸に於て、偏逸滑航艇の爲め撃沈せらる▲米國太平洋沿岸に擱座せる軍艦淺間離礁す

▲五月九日 日曜、晴夜小雨
▲支那政府今午一時、我修正提案承諾を回

及割讓を許さざる旨を宣言す。露軍ガリシアに於ける順勢漸く回り、獨逸軍ドネツタル河岸に撤退す。英國戦艦ゴライアス號はダーダネルスに於て土耳其海軍に爆沈せらる。阿弗利加ウインドホク英軍に占領せられ、同所の獨逸全くと特別議會提出豫算案閣議に於て決定す。故長谷場純孝一年祭あり。

五月十五日 土曜、晴
▲聖上、東京へ還幸せらる。協約草案を支那政府に交付す。同志會及び政友會大會あり、各總務委員改選さる。新に成立されたる無所黨の代議士會役員選定さる。伊太利サランドラ内閣辭職に就き、代議院議長マコラ新内閣組織を命ぜらる。子爵岡崎國良薨去す。難波橋開通式あり。

五月十六日 日曜、晴
▲伊太利首相サランドラ辭意を讀す。葡國海軍叛し、首府を砲撃せしも、次で鎮撫せらる。高田市善導寺より出火し、二十ヶ寺の名刹焼く。

五月十七日 月曜、雨後晴
▲第三十六回帝國國會議員參集す。島田三郎衆議院議長に、花井卓藏同副議長に當選す。

五月二十七日 木曜、晴
▲日露戦争に於ける日本海大海戦記念日なり。英國戦艦トライアンフ號(一萬一千八百噸)ダーダネルス海峡に沈没す。府下日暮里にバスト發生す。

五月二十八日 金曜、晴
▲聖上陸軍中央幼年學校卒業式に臨御あり。英國戦艦マゼスチック號又土國海軍艦に撃沈せらる。海軍飛行機第八號伊勢灣より追濱に歸る。

五月二十九日 土曜、晴
▲佐久間臺灣總督へ御沙汰書及び金品御下賜あり。衆議院に於て島田議長の措置に就きて、又紛議起る。ヘンリージャクソン英國海軍々令部長に任ぜらる。山下汽船會社の八幡丸は大阪商船の馬來丸とアルセリア沿岸に衝突沈没す。

五月三十日 日曜、晴
▲伊太利軍銳進す。境軍退きてトレントに據る。高尾北京公使館書記官新條約を携へて歸京す。東北線瀧澤附近にて列車脱線し、顛覆す。乗客十八名死傷す。土州橋開橋式あり。

小石川なる博文館印刷工場及びライオン齒磨工場焼失す。

五月十八日 火曜、日

▲東久邇宮裕彦王殿下、泰宮聰子内親王と御婚あり。衆議院本日成立に依り、二十日を以て帝國議會開會を命ぜらる。葡國首相カストロ狙撃せらる。支那漢陽なる日本棉花會社工場は暴徒の襲撃を受け、三菱倉庫又焼かる。

五月十九日 水曜、曇
▲聖上陸軍經理學校卒業式に臨幸あり。今晩地震ふこと二回。

五月二十日 木曜、晴後微雨

▲議會開院式あり、車駕親臨勅語を賜ふ。本所四人殺の犯人橋本平三郎自白す。

五月二十一日 金曜、晴

▲伊國は三國同盟廢棄を奧國に通知の旨を發表す。伊太利サランドラ内閣議會の信任決議を得。追濱にて海軍飛行機墜落し機關大破す。

五月二十二日 土曜、曇

▲大隈首相は施政方針を、加藤外相は外交經過を貴族院に演説し、若槻藏相は衆議院に財政方針を演説す。大阪難波橋開通式あり。

五月三十一日 月曜、晴夜雨

▲島田衆議院議長議場に挨拶を陳べて、不當採決の問題を解決す。

六月一日 火曜、雨

▲多年の懸案たりし二箇師團増設を含む大正四年度追加豫算案は大多数にて衆議院を通過す。日光に於ける東照宮三百年祭第一日あり。

六月二日 水曜、雨後曇

▲貴族院に追加豫算案上程さる。質問七時間に亘る。獨逸飛行船始めて倫敦に達し、投下爆弾のため火災數ヶ所に起れり。飛行船雄飛號薄暮帝都を訪ふ。

六月三日 木曜、晴

▲衆議院へ在野黨聯合の外相不信任決議案出で大討論の後一三三對二二二の大數にて否決さる。内閣彈劾全國有志大會歌舞伎座に開かる。海軍中將山内滿壽治男爵に依り木官を免ぜらる。陸軍中將佐野延勝男爵を市內神田及府下日暮里にバスト患者檢發す。

六月四日 金曜、晴

▲アルツェミツスル要塞獨逸軍に奪還せらる。愛國婦人會第十四回總會日比谷に開會せらる。

五月二十三日 日曜、小雨
▲伊國皇帝政府の開戦權を裁可し、兩國愈々交戦状態に入る。▲政府與黨聯合大會は築地精養軒に開催され、在野黨國民同盟會主催有志大會は日比谷松本樓に開催さる。▲大相撲紛擾解決す。

五月二十四日 月曜、晴

▲伊國愈々奥國に宣戦し、國境附近に小衝突を見たり。▲神尾青島守備軍司令官は東京衛戍總督に轉じ、第五師團長中將大谷喜久藏其後を襲ふ。海軍大學校卒業式あり。

五月二十五日 火曜、曇

▲聖上陸軍士官學校卒業式に臨御あり。▲日支協約調印あり。伊太利は自國港灣砲台の獨逸汽船八十隻を捕獲す。▲大藏省券百三十萬圓を發行す。▲陸軍中將松石安治卒去す。▲第八師團長陸軍中將齋藤三郎卒去す。

五月二十六日 水曜、晴

▲英國聯合内閣成る。パルフォア入りて海軍大臣に、ボナロー殖民大臣に任じ、マツチナ大藏大臣に、ロイドジョージ軍需大臣に轉ず。伊太利軍奥國に侵入し、カボレット外敷市を占領す。海軍三飛行機追濱より伊勢灣

る。夏場所大相撲初日なり。

六月五日 土曜、晴夜少雨

▲聖上横須賀に臨幸あり、新艦機名霧島を御親臨あらせらる。▲鐵道院職員大異動あり、京濱間電氣鐵道失職責任者休職又は免官せられ。▲大學病院の疑似バスト患者檢證の結果眞正と決定す。

六月六日 日曜、晴夜小雨

▲東宮及び兩皇子殿下は、横須賀に艦隊運動を上覽あらせらる。▲獨逸飛行船又英國を襲ふ。

六月七日 月曜、曇時々雨

▲日支新條約秘密院を通過し、尋て御裁可あり。衆議院に於ける大浦内相彈劾案否決せらる。

六月八日 火曜、晴

▲衆議院の選舉干渉彈劾決議案大紛擾の後否決せらる。

六月九日 水曜、雨

▲帝國議會最終日なり。貴族院は追加豫算を否決し、責任支出は警告付にて承認す。▲衆議院は議長不信任案を否決す。紛擾例の如し。▲米國々務長官ブライアン内閣方針と協はず辭

職す▲伊太利軍進んでイソング河東岸に陣地を占きたり。

六月十日 水曜、晴 ▲第三十六回帝國議會閉會す▲政友會議員總會あり。

六月十一日 金曜、雨後曇 ▲米國の對獨逸牒九日を以て發送せらる▲東京市會は市長として奥田義人氏を選擧す▲日本橋區霞町に眞正腺ペスト發生す。

六月十二日 土曜、雨後曇 ▲貴族院補缺選舉あり、米澤政賢子當選す▲入梅あり。

六月十三日 日曜、曇小雨 ▲獨逸前駐米大使テルンブルヒ愈々米國を退去せり▲大相撲千秋樂なり、太刀山又全勝の榮を占めしも、優勝旗は依然として東軍に歸せり▲子爵鍋島直彬薨去す。

六月十四日 月曜、曇 ▲山縣公壽の賀筵あり▲帝國水難救濟會總會あり▲力士大錦に昇進のこと決定す。

六月十五日 火曜、晴 ▲山川健次郎氏の兼任を解き、醫學博士荒木寅三郎京都大學總長に任命さる。

六月二十六日 土曜、小雨後晴

▲久邇宮發子女王薨去あらせらる▲神尾新任東京衛戍總督着京す▲露軍ドニエステル河渡渉の獨逸軍を斥く、黒山軍スクタリに着す。

六月二十七日 日曜、晴 ▲西園寺候入京す▲露軍漸くドニエステル河方面に振ひ、佛境獨逸軍連に逆襲を試む。

六月二十八日 月曜、晴

▲露國陸相スホムリノフ辭職す▲英國の敵國商人との取引禁止交渉に對し、帝國は之に應じ難き旨回答す▲代議士板倉中、前代議士日向輝武等拘引收監さる▲府下砂村に又々眞正ペスト出づ。

六月二十九日 火曜、雨後晴

▲露軍ホプルカ、エラウノ方面より、グラニアリイバに退却す▲露軍陸相後任として、ボリワノフ將軍任命さる。

六月三十日 水曜、晴

▲大祓の日なり、宮中風風の間にて行はる。▲軍需品案英國下院に於て、満場一致可決す▲佛國下院に於て三ヶ月間新戦費六十億法を可決す▲前代議士濱名信平收監さる▲日本橋區新材木町に又々腺ペスト發生す。

▲大正四年度追加豫算其他帝國議會通過の諸法律公布さる▲全國商業會議所會頭會議開り▲十九日より青ヶ島沖噴火とあり。

六月二十二日 火曜、雨後晴 ▲露國內相マコラコフ辭任し、シエルナトフ其後任となる▲軍港要塞境域内航空制限令公布あり。

六月二十三日 水曜、晴 ▲井上侯邸に於て山縣、大山、松方の四元老會合あり▲鐵道院新官制公布之に伴ひて職員異動す▲支那國賊條例を發布す、是れ日支合辦事業を阻止するものと解せらる▲露軍遂にクロテツクの陣地を撤退す▲夜に入りて強風あり。

六月二十四日 木曜、強風猛雨 ▲レンベルヒ占領の獨逸公報出て、獨逸軍更にダンケルクの砲撃を開始す▲全國商業會議所會頭集し排貨善後策を議す。

六月二十五日 金曜、雨 ▲地久節なり▲皇子淳宮雅仁親王第十四回御誕辰の日に當る▲久邇宮發子女王愈々危篤に陥らせらる▲井上侯邸に各元老と大隈首相の會合あり▲南九州各地豪雨出水す。

六月二十六日 土曜、晴 ▲聖上赤羽工兵大隊へ行幸あらせられ、爆發演習の天覽あり▲獨逸軍新銳を加へてサン河東方に進出し戰闘更に猛烈となる。

六月二十七日 日曜、晴 ▲露軍グロテツク方面の退却を自認す▲聯合國婦人慈善市三會堂に開かる▲横綱梅ヶ谷引退相撲初日なり。

六月二十八日 月曜、晴 ▲獨逸軍三方軍を分ちてレンベルヒに向ひ露軍退きタネフ河畔を守る▲府下砂村に又々腺ペスト患者出づ▲今晚一時強震あり。

六月二十九日 火曜、晴 ▲獨逸軍三軍を分ちてレンベルヒに向ひ露軍退きタネフ河畔を守る▲府下砂村に又々腺ペスト患者出づ▲今晚一時強震あり。

六月三十日 水曜、晴 ▲獨逸軍三軍を分ちてレンベルヒに向ひ露軍退きタネフ河畔を守る▲府下砂村に又々腺ペスト患者出づ▲今晚一時強震あり。

七月一日 木曜、晴 ▲内務監察官官制の勅令公布あり、塚本清治以下四名監察官任命さる▲獨逸艦隊バルチック海沿岸ウインダウ港を砲撃す▲我が上半期に於ける對外貿易一千二百二十四萬圓の出超に終る▲鐵道院各線は本日より避暑旅行賃金の割引を始め。

七月二日 金曜、晴 ▲故久邇宮發子女王の御葬儀あり▲正副參政官任命發表せられ、之に伴ひて内務大藏の兩次官、東京府知事神社局長主税局長等の異動あり▲黒山軍スクタリ及びアレシオを占領す▲汽船アルメニアン又獨逸潛航艇の爲め撃沈せられ溺死者中には米國人二十餘名ありたり▲富士裾野に軍砲兵隊と飛行機の聯合演習開始さる▲ペスト患者又三名現る。

七月三日 土曜、曇小雨 ▲伊軍イソング平原の要地トルミノを占領す▲墨國前大統領ディアズ巴里に客死す▲醫五名農一名理二名藥三名林一名の各博士號授與あり。

七月四日 日曜、曇小雨 ▲佛境内の獨逸軍頗りに逆襲を試み、ガリポリ

の土軍亦大に英軍を擣す▲露獨艦隊波羅的海會戰獨逸敗走す▲米國銀行家ジエビー、モルガン阻撃せらる。

七月五日 月曜、曇微雨 ▲東京殿下伊勢神宮に御參拜の爲め行啓あらせらる。

七月六日 火曜、小雨 ▲東京殿下伊勢神宮に御參拜あり▲築地精養軒に於て政友會の西園寺侯招待會あり。

七月七日 水曜、雨後曇 ▲東京殿下還啓あらせらる▲モルガン狙撃者ホルト自殺を遂ぐ▲鹿兒島縣諏訪の瀬島噴火す▲七夕の日なり。

七月八日 木曜、晴 ▲東京府農工銀行金利を二厘引下げ年八分五厘とす。

七月九日 金曜、晴 ▲聖上陛下東京帝國大學卒業式に臨御あらせらる▲露軍の形勢漸く振ひ、グスニツクに於て敵を逆襲し大捷す。ターダネルスの土軍大に聯合軍に逆襲を試む。

七月十日 土曜、曇夜雨 ▲日西新修好交通條約の發表あり。▲西南

阿弗利加の獨領全部英軍に降伏す。

七月十一日 日曜、曇少雨

▲東宮殿下所澤飛行場に行啓あり▲獨軍ルプ
リン方面に敗れ退却中なり▲獨逸米國に回答
したりと雖其所言未だ米國の満足する處なら
ず。

七月十二日 月曜、晴

▲參政官初會議あり▲文部省募集の大典奉祝
歌選定結果發表あり。

七月十三日 火曜、晴

▲土耳其皇帝マホメット五世崩御の訃あり▲
支那關東省洪水あり、市街三分の一を浸水す
▲京都帝國大學卒業式あり。

七月十四日 水曜、晴

▲墨國憲政軍主将カランザは、ザパタを敗り
墨西哥市に入る▲英國軍事公債應募額六億磅
に達す▲東北帝國大學官制改正醫科大學新設
す▲千葉縣下に於て飛行機と野砲兵の聯合演
習開始さる。

七月十五日 木曜、晴

▲文相官邸に於て教育調査會總會を開く。

七月十六日 金曜、晴

▲皇后陛下御懷妊に渡らせらる旨公表あり▲

東宮殿下には箱根宮の下御用邸に御避暑遊ば
さる▲獨軍アルザスニツを占領し又、オルセ
エツ及びリテイニアの兩河間に於て露軍を第
一戦に退却せしむ▲霧島山噴煙す▲關東大王
塞日なり。

七月十七日 土曜、晴

▲淳宮、高松宮の兩皇子殿下關西地方へ御出
發あり▲獨軍増援を得て北波蘭に攻勢を執り
ガリシヤの境軍亦た再びドニエステルを渡る
▲青島税關問題に關する支那との協議大體に
於て纏る。

七月十八日 日曜、晴

▲皇后陛下御着帶あり▲獨軍ムインダウ河右
岸を占領しナレフ全線に亘りて戰開行進す。

七月十九日 月曜、晴

▲教育調査委員會年限短縮を目的とする菊池
案は可決さる▲霧島山噴煙は訛傳と判明す。

七月二十日 火曜、晴

▲御内帑金三千圓を京都同志社へ御下賜相成
りたり▲北白川宮撫子女王は二荒芳徳伯爵と
御成婚ありたり。

七月二十一日 水曜、晴

▲土用入▲獨軍南北よりワルソウを脅威す勢

頗る猛烈なり、クラスノスタワの露軍第二線
陣地に退却す▲伊國軍艦カツタロ港を砲撃し
巡洋艦カリバルを撃沈せらるるとの報あり。

七月二十二日 木曜、晴

▲英國下院新軍事費一億五千萬磅を可決せり
▲同國カーゲフ炭坑々夫の罷業鎮定す▲此日
午後四時前後東京市内電車三時間に亘り大停
電せり。

七月二十三日 金曜、晴

▲アラバマ、ニューイヤークに次ぎて米國
軍艦オクラホマ亦た火災に罹る、コンネクチ
カット軍需品製作所にも罷業起る▲水災を蒙
りたる支那廣東附近に更に虎疫發生して慘狀
を極む。

七月二十四日 土曜、晴

▲中洲三島殺翁宮中顧問官に任ぜらる▲經濟
學者細川雄次郎氏逝去す▲前日來北海道各地
に洪水の被害あり▲兩國の川開き。

七月二十五日 日曜、晴

▲露軍イワンゴロット前線に進行し激戦の後
一日敵を驅逐す▲米國第三回通關獨逸に送ら
る▲米國市俄古に於て遊船轉覆し溺死者千
二百名を出せり。

七月二十六日 月曜、晴

▲大藏證券一千萬圓借換發行▲朝鮮各地各水
漢江又汎濫す、京城龍山地方浸水せり▲追濱
にて海軍飛行機墜落し機體破壊せり。

七月二十七日 火曜、晴

▲閑院宮泰子女王殿下子爵安藤信昭氏へ御歸
嫁の事勅許公表せらる▲二松學會維持費とし
て御内帑金一萬圓御下賜せらる▲獨逸潛
航艇又々米船リーナウ號を撃沈せり▲中央
衛生會總會にて血清檢定を可決す▲海軍飛行
將校六名東京灣一周卒業飛行を舉行す。

七月二十八日 水曜、晴

▲ハイチ共和國に叛亂起る▲林田衆議院書記
官長濱職事件に連座し起訴さる▲上海に大暴
風あり、船舶被害多し。

七月二十九日 木曜、晴

▲大浦内相辭表捧呈▲佛軍ロム市占領▲ハイ
チ共和國大統領グアイローム氏叛徒の爲め射撃
さる。

七月三十日 金曜、晴

▲明治天皇三年祭。

七月三十一日 土曜、晴

▲山縣公上京參内御諮問に答せり▲露軍愈

ワルソウ撤退を開始したり。

八月一日 日曜、晴

▲大山公前夜歸京今朝參内して山縣公と共に
疑問御下問に奉答す▲鷹司侍從長聖旨を奉じ
て興津に井上侯を訪ふ▲南洋酋長團入京。

八月二日 月曜、雨

▲林田前下院院長高松へ護送せらる。

八月三日 火曜、晴

▲淳宮高松宮兩殿下福島縣下翁島へ御避暑遊
ばさる▲山縣大山兩公及松方公宮中に會し議
する處あり▲全國幼稚園大會開る。

八月四日 水曜、曇雨

▲山縣大山兩公參内▲米國ヘンシルヴァニア
エリー市大洪水。

八月五日 木曜、大雨

▲佐久間陸軍大將薨去す▲露軍は遂にワルソ
ウ防禦線を撤退せり▲葡萄牙に革命運動勃發
す。

八月六日 金曜、晴時々驟雨

▲農商務書記官岡崎國臣氏衆議院書記官長を
命ぜらる▲獨軍愈々ワルソウを占領す。

八月七日 土曜、晴

▲青島税關問題解決し調印を了せり▲第三戰

隊司令官山屋海軍中將特命仰付らる▲力士梅
ヶ谷西の海の一行渡米の途に上る。

八月八日 日曜、晴

▲獨軍テント要塞を占領せり。

八月九日 月曜、晴夜驟雨

▲大隈首相改造内閣成立を伏奏す▲獨逸丁抹
を通じて露國に講和を申込み拒絶せらる▲立
秋。

八月十日 火曜、雨後曇

▲改造内閣愈々成立、轉任新任各大臣親任式
舉行さる▲加藤外相、若槻藏相、八代海相、
依願官を免ぜらる▲一月、内山、大道三大將
の親任式行はる▲陸軍高級武官の陞任轉補多
し▲拂曉豪雨市内各地出水あり。

八月十一日 水曜、晴

▲金環蝕、東京に於ては蝕甚六分九厘なりし。

八月十二日 木曜、晴

▲河村宮内次官の後任として石原神奈川縣知
事任命され、西久保北海道長官伊澤氏の後を
襲ひ警視總監となる、同時に十餘の地方長官
及部長に異動あり▲安達外務外三正副參政官
辭任せり。

八月十三日 金曜、晴

▲大禮記念章制定の件公布さる ▲文部省美術展覧會審査委員の任命あり。

▲八月十四日 土曜、晴

▲聖上陛下御遊覧の爲め日光田母澤御用邸へ行幸あらせらる ▲獨逸軍アルツウの東シエドリスを占領せり ▲南洋會長團歸國の途に上る。

▲八月十五日 日曜、曇

▲朝鮮元山築港起工式舉行さる ▲新横濱停車場開場式を擧ぐ。

▲八月十六日 月曜、曇小雨

▲同志會代議士會現内閣援助を決議す ▲東京電燈株式會社社長佐竹太郎氏逝く。

▲八月十七日 火曜、曇小雨

▲獨逸潛艇英國愛蘭沿岸三市を砲撃す。

▲八月十八日 水曜、晴夜小雨

▲日支間青島海關取扱發表せらる ▲希臘アリス内閣の辭職 ▲獨逸潛艇イーシヤン海に於て英國運送船を撃沈す、溺死兵一千に及ぶ。

▲八月十九日 木曜、晴

▲獨逸軍コッノを陥る ▲前夜島津忠清公薨去。

▲八月二十日 金曜、雷雨

▲英船アラビック獨逸潛艇に撃沈さる ▲大

藏省證券千三百萬圓の中三百萬圓は償還、一千萬圓は借換發行さる。

▲八月二十一日 土曜、曇

▲參政官補缺任命あり ▲ノウカゲオルギユウスクも亦獨逸軍に占領されたり。

▲八月二十二日 日曜、曇小雨

▲山東省戰線區域撤廢の件交渉済となる ▲大日本農會大會島根縣松江市に開かる。

▲八月二十三日 月曜、曇小雨

▲リガ灣の海戦に於て獨逸巡洋艦モルトゲ他十隻撃沈さる ▲練習艦阿蘇宗谷横須賀歸着。

▲八月二十四日 火曜、曇小雨

▲大隈首相 岡陸相日光御用邸に伺候し、同地に於て露公使と協議す ▲オソウエツ要塞に陥落せり ▲希臘内閣成立す。

▲八月二十五日 水曜、曇小雨

▲日支新條約中延期の條項施行細則協定未成なるも本日より實施に決せり ▲細川立興子貴族院議員に當選す。

▲八月二十六日 木曜、晴

▲所澤高田間大飛行決行、徳川大尉は發動機故障の爲め高崎着陸、佐藤大尉は千曲川原に

着陸し、岡大尉のみ成功せり。

▲八月二十七日 金曜、豪雨後晴

▲アレストリトウスク亦獨逸軍に占領さる ▲佐藤大尉の飛行機高田に着 ▲此日東京豪雨。

▲八月二十八日 土曜、晴

▲獨逸軍亦オリア要塞を陥落す ▲英國サウスウエールスの石炭坑夫同盟罷業を爲す ▲島村、加藤の二海軍中將大將に陞任 ▲佐竹義準男上院議員に當選す ▲中田中尉、中澤少尉の兩飛行機高田發途中輕井澤に着陸す。

▲八月二十九日 日曜、晴

▲新艦艦扶桑廣島灣に於て公試運轉を行ふ ▲中田、中澤兩飛行將校所澤に歸着す。

▲八月三十日 月曜、晴

▲支那陸軍總長段祺瑞辭職、王士珍其後を襲ふ ▲軍艦淺間修理完成して英領加奈陀に向ふ ▲政友會關東大會水戸市に於て開催。

▲八月三十一日 火曜、晴

▲天長節。

▲九月一日 水曜、晴

▲福島縣島に御遊覧中なりし淳宮高松宮兩皇子殿下御歸京遊ばさる ▲侯爵井上馨は尿毒症により、興津に薨去す。特旨位を進めて從

一位に叙し菊花章頸飾を賜ふ ▲青島稅關本日を以て支那に引渡さる ▲昨日第二艦隊戰艦團射擊中軍艦周防に、負傷者十數名を出せり ▲機體不具の爲め久しく高崎に淹留中なりし徳川大尉は所澤に歸航す。

▲九月二日 木曜、曇小雨

▲二十日は各地無事平穩なり ▲農商務省第一回米作豫想高は、五千七百六十八萬六千五百二十五石にして昨年實收に比し一分二厘平年に比し一割二分四厘増收の見込なり。

▲九月三日 金曜、雨

▲箱根に御遊覧中なりし東宮殿下東京へ還啓遊ばさる ▲閑院宮第一王女泰子殿下は、子爵安藤信昭へ御歸嫁遊ばさる ▲獨逸軍はルズグオラニー兩要塞を陥れ、グロトノ亦危し ▲墨國オロスコ將軍銃殺せらる ▲鐵道院總裁仙石貢辭任し添田壽一其後を襲ふ。

▲九月四日 土曜、晴時々雨

▲グロドノ途に陥落し露國參謀總長更迭アレクシエフ、ヤメツケウイツチに代れり。

▲九月五日 日曜、曇豪雨

▲日露協和十周年紀念大會を日比谷松本樓に開會す ▲醫學博士野口英世歸朝す。

▲九月六日 月曜、曇後晴

▲聖上陛下日光田母澤より還幸遊ばさる ▲日置駐支公使着京す ▲獨逸潛艇又英汽船へスハリアン號を撃沈せり。

▲九月七日 火曜、晴驟雨

▲故井上馨侯葬儀を日比谷にて執行す ▲在東京獨逸俘虜習志野に移さる。

▲九月八日 水曜、晴

▲文部省募集の大典奉祝歌樂譜審査の結果發表さる ▲關西九州地方暴風雨あり。

▲九月九日 木曜、晴雨

▲大正五年度豫算案閣議に上る ▲露國ニコラス大公はコカサス太守兼コカサス軍司令官に任命さる、又露軍ターノホルに大捷す。 ▲英艦隊はオスタンコ方面の全海岸を砲撃す ▲劇震の爲め巴奈馬運河不通なり。

▲九月十日 金曜、晴曇相半す

▲御大典日程發表さる ▲米國政府は奧國大使の陰謀を疑み其召還を同國政府に要請す ▲四年大學令提案決定す。

▲九月十一日 土曜、快晴

▲大嘗祭の大典を擧げさせらるべき造酒殿成る ▲朝鮮施政五年紀念共進會開閉式を擧げ、

日鮮精神歡喜す。ガリシヤ露軍大勝の結果、捕虜並に戰利武器益々増加す ▲米國の奧國大使召還請求の理由發表さる、塊使の不信を責めて完膚なし。

▲九月十二日 日曜、快晴

▲乃木伯爵家再興の議決す ▲米國大使ガスリ氏歸任し、日米國交の圓滑を説く。

▲九月十三日 月曜、晴

▲乃木大將三年祭に當り華族令第十二條の規定に基き、乃木伯爵家斷絶の旨發表さる、同時に毛利元智氏に伯爵を賜ひて事實に於て乃木家再興す ▲防務會議開會の結果、海軍八四計費容認せらる ▲露軍力戦してスキテルを復す。

▲九月十四日 火曜、快晴

▲閣議を開き防務會議に於て決したる海軍八四案を容認す ▲葡國大に亂る ▲文部省令を以て痘苗其他各種血清の値下を發表す。

▲九月十五日 水曜、晴小雨

▲獨逸軍進んでドウインスタ、ウイルナ間に於て露の鐵道線を切斷せり ▲福岡在留の獨逸俘虜中九十五名習志野に轉送せらる ▲特に伯爵を授けられたる毛利元智氏を乃木と改む。

九月十六日 木曜、晴
▲英國政府は二億五千萬磅の新戦費を議會に要求せり▲十月一日より、旅順大連に市制施行の旨公示さる ▲上野東照宮の三百年祭執行さる。

九月十七日 金曜、晴小雨
▲明年度豫算は本日閣議に於て決定す。海軍補充費總額四千五百萬圓中初年度分五百九十萬圓を計上す▲前駐日英大使サーマクドナルド追悼式を聖安得烈教會に舉行さる。

九月十八日 土曜、晴
▲露國議會停會に次いで解散せられたり▲徵兵制度實行問題の爲め英國閣員間に不一致あり、形勢頗る重大なり▲探險家ステファンリッ加奈太西北、北極圏内に重要な平地を發見せり。

九月十九日 日曜、晴
▲ワイルナ方面の戦鬪極點に達し埃軍又同地ミンスク間の鐵道線に達すがリシアに於ては露軍稍成功す。

九月二十日 月曜、晴時々雨
▲獨軍ワイルナを占領す▲愛知縣碧海郡悠紀

九月三十日 木曜、曇夜雨
▲アトリア、シヤンペイム方面に於て獨軍十二萬餘の兵員喪失す▲印度政府は石炭及黄麻製品を英國以外へ輸出を禁止す▲日本銀行限外發行は三十餘萬圓なり。

十月一日 金曜、曇
▲東宮殿下第一艦隊實射演習御見學の爲め伊勢へ行啓遊ばさる ▲佛軍シヤンペイムに於て獨の第二艦隊諸點を奪取し英軍亦進みてルー附近に敵の第三線に薄れり▲中將村上格一海軍技術部本部長兼將官會議員に少將中野直枝艦政部長に補せらる ▲米作第二回豫想發表五千七百七十萬石第一回に比し三分四厘の減收なり。

十月二日 土曜、曇
▲聯合軍益々優勢に顯獲せる砲數百廿門に達す一方露軍は再びルスクを敵に委したるが如く其東方に激戦中なり▲米價再び奔騰十錢方を引返し先物十二圓臺に出づ株式界亦昂騰す。

十月三日 日曜、雨後曇
▲大典記念京都博覽會開會式あり▲朝鮮銀行總裁市原盛宏京城にて逝去す▲京都府會議員

齊田拔擢式舉行さる▲米價大に低落し遂に十圓臺に入る、正に明治四十三年以來の安値とす。

九月二十一日 火曜、曇時々雨
▲支那參政院國體變更建議案を可決す▲市俄古大學野球選手來朝す▲各地府會議員總選舉始まる。

九月二十二日 水曜、晴
▲所得稅四割増徴其他の増稅案を英議會に提出せられたり。勃牙利は勅員令を發せり▲海軍總政本部を廢し技術本部を設置し之に伴ふ勅令九件公布さる ▲高松地方裁判所に於て、林田前衆議院議長等十九名は豫審決定し公判に移さる。

九月二十三日 木曜、曇後晴
▲海軍司令長官更迭し吉松中將第一艦隊司令長官に藤井中將横須賀長官に伊地知中將吳長官に親補さる ▲大増稅を含む英國戰時豫算案は全部下院を通過す。

九月二十四日 金曜、晴
▲英國大使館にて神尾陸軍中將並加藤(定吉)海軍中將(シ、シ、エム、シ)勳章授與式を行ふ▲米國ストーション博士來朝す。

十月四日 月曜、晴
▲露國勃牙利に獨逸との關係斷絶を望める最後通牒を致せり▲參謀次長陸軍中將明石元二郎第六師團長に轉じ少將田中義一中將に任じて其後を襲ふ▲奉天總領事落合謙太郎伊太利大使館參事官に轉任し、内務省神戶局長斯波淳六郎罷免本清治其後任となる▲東京市會奥田市長の市事業整理案を可決す。

十月五日 火曜、晴
▲東宮殿下伊勢より還啓遊ばさる。▲來る十一月二十九日帝國議會召集の詔書發布さる ▲貯蓄銀行條例は昨年一月より無盡業法は來月一日より施行の旨、各施行細則と共に公布さる。

十月六日 水曜、曇
▲聯合軍サロニカに上陸す▲希臘首相ウエネセロス皇帝と議合はす辭職せり▲問島問題に關し支那政府より再抗議來る。▲米價調節會官制公布同委員任命さる。▲日獨戰役功績審査委員任命さる。

十月七日 木曜、終日雨
▲明治神宮地鎮祭あり。▲勃牙利對露英佛國

九月二十五日 土曜、晴
▲希臘遂に豫備兵に勅員令を下せり、聯合軍側の爲に動かんとするものと解せらる ▲東京市及各地方府縣會議員の選舉を行ふ。

九月二十六日 日曜、晴後曇
▲露軍ルスクを奪還し形勢大に振ふ、伊英軍亦大に活躍せんとす▲東京郡部及各地方府縣會議員引續き開票さる。

九月二十七日 月曜、曇
▲京都大醫宮上棟式行はる ▲外務省日支條約と問島との關係に就き支那政府よりの覺書に回答す▲一千萬圓(日歩九厘)五百萬圓(日歩八厘)の大藏省證券發行さる ▲横須賀海軍工廠五十年祝典を行ふ。

九月二十八日 火曜、曇夜雨
▲アトリアガチ鐵道地帶割讓の土勃協約に調印せらる ▲英貨鐵道債券振替の爲め内債三千萬圓發行の旨公示さる。

九月二十九日 水曜、曇晴雨
▲御大典參列員の範圍を發表す▲伊國戰艦「ベネテツトプリン」擱沈す▲シヤンペイム方面激戦尙ほ繼續し、露軍ホルスクよりコヴエルに進出す。

十月八日 金曜、烈風雨後曇
▲聖上陛下來る十八日を以て東北大演習地へ行幸の旨仰出さる ▲露佛英伊塞五國公使勃國に旅券請求獨軍大舉塞爾維に入る ▲ザイミス首相として希臘新内閣組織に決せり▲昨夜來烈風雨全國被害多少あり。

十月九日 土曜、晴
▲希臘新内閣成立、ザイミス首相兼外相たり ▲支那國體決定機關國民代表大會法發布せらる ▲飛行機四機東北演習地へ向ふ今日大田原著陸す▲早大市俄古野球團と戦ひ敗る▲今曉強震あり。

十月十日 日曜、晴
▲皇后陛下御着帶あり▲塞爾維獨都ベルグラード陥る、獨軍大舉ルー方面に逆襲し英軍善戰克く陣地を支持す▲故桂公三週年法忌あり。

十月十一日 月曜、晴夜小雨

▲皇后陛下より熊本病院主リアルに金二千圓御下賜あり▲紐育況米會議議國カラナザ政

▲明年御歌會初御題、寄國祝と仰出さる▲石井駐佛大使着京、即日外務大臣に任ぜらる

▲臨時閣議を開き對外交條件を審議す▲佛外相アルカッセルと首相ワイアニ外相を兼攝す

▲八月月間太平洋警備の任にありし軍艦千歳横須賀に歸着す▲文部省美術展覽會開會す

▲聖上陛下下京都に還幸遊ばさる▲無線電信法公布さる▲奥田東京市長電車賃整理案を市参事會へ提出す

▲英國皇帝佛國に戦線を訪ふ▲ワスケブ途に陥落す▲和蘭公使帶原喜重郎歸朝す▲米價調節委員會現時應急調節案可決さる

▲我政府支那に對し國體變更に關する警告を發す▲塞國に於ける獨逸勳軍聯絡す

▲英露佛の不單獨講和契約に我日本も加盟せし旨發表さる▲國體變更に關する我警告昨支那政府に交付せらる、英露兩國亦警告す▲松井外務次官駐佛大使に任ぜられ帶原和蘭公使其後を襲ふ▲佛國首相ワイアニ辭職しブリアン新内閣組織中なり

▲佛軍滯在中の英皇帝閱兵中落馬負傷せらる▲佛國總司令官ジョツフル英國を訪問す▲柴四郎外務省參政官に任ぜられ大隈信常副參政官に轉じ、小山谷藏文部省副參政官を襲

▲慶應大學三度市俄古野球場に敗る

▲農商務省米價調節案發布さる▲募集額三千萬圓の鐵道公債募集五千九百二十萬圓に及ぶ

▲神警祭▲羅馬尼中立維持を公宣す、露伊公使希臘を退去せんとす、勃國諸港灣を封鎖さる

▲聖上陛下下東北大演習へ行幸遊ばさる▲海軍大演習開始さる▲サロニカ上陸の聯合軍勃國に侵入しストルミザ市を占領せり

▲聖上陛下下御駐地仙臺市を御發聲に相成り弘前に着御遊ばさる▲長き邊りより大日本靈會へ金二萬圓御下賜▲御大禮儀式儀禮時間發表さる▲安達駐墨公使歸朝す▲波米角力團歸朝す

▲陸軍特別大演習第一日なり▲英國檢事總長カーソン卿辭職す、近東問題に關し内閣の動搖免れじと▲内田海軍大臣官辭職す、爲替

▲天長祝儀、豐明殿に賜あり、觀兵式は御取止めとなる▲外務大臣官邸に夜會あり▲昨臺海陸軍事件全部判決匪徒總數千十三名中死刑九百三十三なり▲鶴見總持寺梵鐘撞初式なり

▲吉松第一艦隊司令長官は御大典期間に於ける聯合艦隊司令長官に兼補せらる▲力士先代出羽の海死す

▲聖上陛下下各國大使を引見さる▲昨日支那政府は日英露三國に對し國體變更に關する警告を拒絶す佛國亦同政府に對し警告を發す

▲對支方針擬議の爲め午後三時に閣議開かる▲エドワード、スマスはカーソン卿に代りて英國檢事總長となれり▲三萬六百噸の戰艦山城横須賀工廠に於て進水さる

▲伏見眞愛親王へ大禮觀兵式指揮官、田中義一中將へ同參謀長仰付けらる▲邦彦王臨時神

▲聖上陛下下御發聲今夜仙臺市へ御駐泊遊ばさる▲陸軍ワスケブ一部を占領す露艦勃國海岸を砲撃す露帝軍費五億五千磅を裁可せり▲國產獎勵會主催展覽會開會さる

▲聖上陛下下御發聲今夜仙臺市へ御駐泊遊ばさる▲陸軍ワスケブ一部を占領す露艦勃國海岸を砲撃す露帝軍費五億五千磅を裁可せり▲國產獎勵會主催展覽會開會さる

▲聖上陛下下御發聲今夜仙臺市へ御駐泊遊ばさる▲陸軍ワスケブ一部を占領す露艦勃國海岸を砲撃す露帝軍費五億五千磅を裁可せり▲國產獎勵會主催展覽會開會さる

▲聖上陛下下御發聲今夜仙臺市へ御駐泊遊ばさる▲陸軍ワスケブ一部を占領す露艦勃國海岸を砲撃す露帝軍費五億五千磅を裁可せり▲國產獎勵會主催展覽會開會さる

▲聖上陛下下御發聲今夜仙臺市へ御駐泊遊ばさる▲陸軍ワスケブ一部を占領す露艦勃國海岸を砲撃す露帝軍費五億五千磅を裁可せり▲國產獎勵會主催展覽會開會さる

▲聖上陛下下御發聲今夜仙臺市へ御駐泊遊ばさる▲陸軍ワスケブ一部を占領す露艦勃國海岸を砲撃す露帝軍費五億五千磅を裁可せり▲國產獎勵會主催展覽會開會さる

貯金局長下村宏其後を襲ふ▲株式市場益々振ひ本日出來高二十萬株の新記録に上る

▲聖上陛下下御發聲今夜仙臺市へ御駐泊遊ばさる▲陸軍ワスケブ一部を占領す露艦勃國海岸を砲撃す露帝軍費五億五千磅を裁可せり▲國產獎勵會主催展覽會開會さる

▲聖上陛下下御發聲今夜仙臺市へ御駐泊遊ばさる▲陸軍ワスケブ一部を占領す露艦勃國海岸を砲撃す露帝軍費五億五千磅を裁可せり▲國產獎勵會主催展覽會開會さる

▲聖上陛下下御發聲今夜仙臺市へ御駐泊遊ばさる▲陸軍ワスケブ一部を占領す露艦勃國海岸を砲撃す露帝軍費五億五千磅を裁可せり▲國產獎勵會主催展覽會開會さる

▲聖上陛下下御發聲今夜仙臺市へ御駐泊遊ばさる▲陸軍ワスケブ一部を占領す露艦勃國海岸を砲撃す露帝軍費五億五千磅を裁可せり▲國產獎勵會主催展覽會開會さる

▲聖上陛下下御發聲今夜仙臺市へ御駐泊遊ばさる▲陸軍ワスケブ一部を占領す露艦勃國海岸を砲撃す露帝軍費五億五千磅を裁可せり▲國產獎勵會主催展覽會開會さる

▲聖上陛下下御發聲今夜仙臺市へ御駐泊遊ばさる▲陸軍ワスケブ一部を占領す露艦勃國海岸を砲撃す露帝軍費五億五千磅を裁可せり▲國產獎勵會主催展覽會開會さる

▲聖上陛下下御發聲今夜仙臺市へ御駐泊遊ばさる▲陸軍ワスケブ一部を占領す露艦勃國海岸を砲撃す露帝軍費五億五千磅を裁可せり▲國產獎勵會主催展覽會開會さる

▲聖上陛下下御發聲今夜仙臺市へ御駐泊遊ばさる▲陸軍ワスケブ一部を占領す露艦勃國海岸を砲撃す露帝軍費五億五千磅を裁可せり▲國產獎勵會主催展覽會開會さる

▲聖上陛下下御發聲今夜仙臺市へ御駐泊遊ばさる▲陸軍ワスケブ一部を占領す露艦勃國海岸を砲撃す露帝軍費五億五千磅を裁可せり▲國產獎勵會主催展覽會開會さる

▲聖上陛下下御發聲今夜仙臺市へ御駐泊遊ばさる▲陸軍ワスケブ一部を占領す露艦勃國海岸を砲撃す露帝軍費五億五千磅を裁可せり▲國產獎勵會主催展覽會開會さる

▲聖上陛下下御發聲今夜仙臺市へ御駐泊遊ばさる▲陸軍ワスケブ一部を占領す露艦勃國海岸を砲撃す露帝軍費五億五千磅を裁可せり▲國產獎勵會主催展覽會開會さる

▲聖上陛下下御發聲今夜仙臺市へ御駐泊遊ばさる▲陸軍ワスケブ一部を占領す露艦勃國海岸を砲撃す露帝軍費五億五千磅を裁可せり▲國產獎勵會主催展覽會開會さる

▲聖上陛下下御發聲今夜仙臺市へ御駐泊遊ばさる▲陸軍ワスケブ一部を占領す露艦勃國海岸を砲撃す露帝軍費五億五千磅を裁可せり▲國產獎勵會主催展覽會開會さる

▲聖上陛下下御發聲今夜仙臺市へ御駐泊遊ばさる▲陸軍ワスケブ一部を占領す露艦勃國海岸を砲撃す露帝軍費五億五千磅を裁可せり▲國產獎勵會主催展覽會開會さる

▲聖上陛下下御發聲今夜仙臺市へ御駐泊遊ばさる▲陸軍ワスケブ一部を占領す露艦勃國海岸を砲撃す露帝軍費五億五千磅を裁可せり▲國產獎勵會主催展覽會開會さる

▲塞國クルセアツ又た獨軍の略する所となる
▲重伯谷口香逝く。

十一月十日 水曜、晴

▲京都紫宸殿に於て御即位大禮を行はせらる
▲恩赦救恤(百萬圓内幣御下賜)養老贈位、叙勳、神社階格等發表さる。

十一月十一日 木曜、曇後雨

▲春興殿賢所大前にて御神樂の儀あり▲支那國體變更は本年中延期の旨通告あり。

十一月十二日 金曜、晴

▲東宮殿下京都御發還啓の途に就かれ、同夜靜岡に御一泊遊ばさる▲京都に於て御親御の儀あり▲伊太利亦支那へ對し國體變更延期を勸告せり▲英國四十億圓の新軍費案を下院に提出せり。

十一月十三日 土曜、晴

▲東宮殿下帝都へ還啓遊ばさる。▲京都に於て大嘗祭前一日鎮魂の儀及び大嘗宮鎮祭の儀あり▲駐日英露佛伊大使を各勳一等に叙し旭日桐花大綬章を賜ふ以下各國公使に叙勳あり。

十一月十四日 日曜、晴

▲大嘗祭 ▲シヨツフル將軍聯合軍總司令官

に推薦せらる ▲文部省美術展覽會開會となる。

十一月十五日 月曜、晴

▲大嘗祭の儀今曉を以て終了、次で同祭後鎮祭行はる▲日本郵船會社社長加藤正義辭職す▲全國慈善事業大會京都に開ひる。

十一月十六日 火曜、晴

▲二條離宮に於て大嘗第一日の儀あり。東京府へ二萬圓同市へ十萬圓京都府へ三萬圓同市へ十五萬圓御下賜さる▲各地に賜儀式あり。

十一月十七日 水曜、晴

▲大嘗第二日及夜宴の儀あり▲智利公使エルボン氏京都にて逝く▲英國首相外相巴里に集まる、佛勃大にセルナヤ河邊に戦ふ。

十一月十八日 木曜、晴

▲昨日に引續き京都に臨時閣議を開き對支策として積極的監視方針に決定す▲日本郵船會社副社長に須田利信選任さる。

十一月十九日 金曜、晴

▲天皇陛下には伊勢神宮親調の爲め京都御發還山田に着御遊ばさる▲大隈首相京都より歸京す▲露軍波斯テラーランに進み獨逸兩公使同地を去る。

十一月二十日 土曜、晴

▲聖上陛下には伊勢神宮外宮を御親調あらせらる▲來月四日の特別大觀禮式参列艦艇並に指揮官を發表す▲英佛露國等支那を誘ひて協商側たらしめんとす。

十一月二十一日 日曜、晴

▲聖上陛下伊勢内宮を御親調さる▲淳宮高松兩皇子殿下京都へ御出發相成りたり▲三重縣へ五千圓山田市へ一萬圓御下賜の沙汰あり▲京都に於て文部省美術展覽會開會さる。

十一月二十二日 月曜、晴

▲聖上陛下伊勢より京都へ還幸あり▲東京府會及び全國農工銀行同盟大會開會さる。

十一月二十三日 火曜、晴

▲獨軍更に七箇軍團を白佛方面に進進せしめたり▲株式市場益々活況を呈し、今日出來高二十餘萬株に達す▲獨飛行船瑞西に入り聯合軍側の砲彈製造所を襲へり。

十一月二十四日 水曜、晴

▲聖上陛下神武天皇御陵を御親調遊ばさる▲兩皇子殿下京都より御歸京相成りたり。
十一月二十五日 木曜、曇後雨
▲聖上明治天皇御陵を親調さる。▲塞國政府

又クスタリに退轉す生絲價暴騰の爲め福井紋、羽二重機業同盟休止となる。

十一月二十六日 金曜、雨後曇

▲聖上陛下には仁孝光格孝明三陵へ御親調遊ばさる。▲希臘遂に聯合軍の自國通過及び後退の際武裝を除せざること等の條件を容る。▲全國教育家大會京都に開ひる。

十一月二十七日 土曜、晴

▲聖上陛下には京都御發還、本日名古屋に御駐蹕相成りたり▲同志會及政友會大會開ひる▲生絲の價益昂騰し千五百四十圓臺に上る▲五飛行機青山練兵場を訪ふ。

十一月二十八日 日曜、曇

▲聖上陛下宮城へ還幸さる▲同志會中正會及政友會議員總會を開く▲子爵米田虎雄薨去す。

十一月二十九日 月曜、晴

▲第三十七議會參集成立す▲特別觀兵式の豫行あり▲女子高等師範學校に於て開校四十年記念式を擧ぐ。

十一月三十日 火曜、晴

▲十二月一日を以て帝國議會開會を命ずとの詔書降る。▲皇靈殿神殿へ大禮終了御奉告の

儀あり▲東京株式取引所景氣益沸騰し遂に立會停止となる。

十二月一日 水曜、晴

▲第三十七回帝國議會開院式行はれ、車駕親臨あり▲横田國臣大森鐘一積東田中芳男山川健次郎三井高保大倉喜八郎古河虎之助森村市左衛門等に男爵を授けらる。

十二月二日 木曜、晴

▲第四皇子御降誕あり▲大禮觀兵式舉行さる▲在郷軍人を御親調遊ばされ同時に勸語を賜ふ▲貴衆兩院開會さる▲退去受命の二印度人行衛不明となる。

十二月三日 金曜、晴

▲新皇太子に御親調賜授の儀あり▲帝國在郷軍人會第一回大會開ひる▲一度計報を傳へられし辻新次男本日薨去發表さる。

十二月四日 土曜、晴

▲横濱沖に於て大禮特別觀禮式を行はれ天皇陛下臨御あり▲觀禮式參加の海軍飛行墜落し、搭乗者青木中尉溺死す。

十二月五日 日曜、晴

▲上海に暴動起り、軍艦及兵器廠占領さる▲陸軍兵士除隊となる。

▲石井外相英佛露三國大使と會商す▲昨日勃發の上海動亂に付き帝國軍艦急派に決す▲地方長官會議開ひる。

十二月七日 火曜、晴強風

▲宮中夜會第一日の儀あり、能樂を天覽に供す▲上海の動亂鎮定せり▲曲乘飛行家ナイエル來朝す。

十二月八日 水曜、晴

▲第四皇子殿下崇仁と御命名澄宮と稱せらる浴湯、讀者鳴弦の儀行はる▲宮中夜會第二日の儀あり。

十二月九日 木曜、晴

▲東京市御大典奉祝會を催し、聖上親しく臨幸且東京市へ十萬圓、東京府へ二萬圓下賜の御沙汰あり▲宮中顧問官内三吉澄宮御養育掛長被仰付。

十二月十日 金曜、晴

▲聖上陛下教育振興に關する御沙汰を賜ふ▲衆議院豫會開ひる。

十二月十一日 土曜、曇

▲支那國體投票完了、立憲君主專制を採用し皇帝に袁氏推戴を可決す。▲青山練兵場に米

人ナイルスの曲乘飛行あり▲新兵入隊す。

十二月十二日 日曜、晴

▲袁總統一度參政院の即位勅進表を斥け他に其人を得よと説示す▲光格天皇例祭▲巴里の英佛首腦會議に於て巴爾幹戰艦を決す。

十二月十三日 月曜、晴

▲參政院再度の勸請によりて袁世凱帝位に即くを承諾せり▲海軍大異動發表さる。

十二月十四日 火曜、晴

▲袁皇帝は反對黨壓迫の爲め長文の命令を發せり▲匈國首都ブダペストに不穩の兆あり。

十二月十五日 水曜、晴

▲明治座に於て政團聯合内閣彈劾演說會開かる。

十二月十六日 木曜、晴

▲五國宣言書支那政府へ交付せらるる▲霞ヶ關離宮に於て外務大臣主權の大夜會開かる▲海軍兵學校卒業式を行ふ。

十二月十七日 金曜、晴

▲大正四年田租第一期分延納に關する法律案貴族院にて可決確定▲上原勇作長谷川好道に代りて參謀總長に一戸兵衛教育總監兼軍事參議官に補せらる▲松井駐佛大使赴任す。

十二月十八日 土曜、晴

▲畏きあたりより日本赤十字社へ七千五百圓御下賜さる▲衆議院政團聯合政府彈劾決議案討議未嘗有の混亂を經九十票の多數を以て否決せらる▲墨國近海に坐礁せし軍艦淺間横須賀に歸着す。

十二月十九日 日曜、晴

▲代議士花井卓藏林毅陸の彈劾決議案に賛成し政友に背きたりとの理由を以て副議長を辭す▲昨日米國大統領ウィルソン、ガルト未亡人と結婚式を舉ぐ。

十二月二十日 月曜、晴

▲大藏省證券二千萬元發行さる▲國民黨は衆議院内暴行者武藤金吉除名處分の交渉を斥く。

十二月二十一日 火曜、晴夜雨

▲奥田市長の電車乘賃値上案市參事會に提出せらる▲ガリゴリ半島の英軍退却して他方面に移れり▲衆議院秘密會議に於て暴行議員武藤金吉を二週間、岩本平藏、鳩山一郎を十日泰豐助、小林源藏を一週間の出席停止に處す。

十二月二十二日 水曜、晴夜小雨

▲本年度第一期田租租額下に關する法律公布

十二月二十三日 木曜、冬至、晴

▲日本郵船の八阪丸地中海に於て擧沈せらる▲横網梅ヶ谷斷髮癩癩す▲獨帝病む、露軍勃國に進撃す。

十二月二十四日 金曜、晴後小雨

▲海軍卒業飛行あり、一機故障ありて千葉幕張に下降す▲陸軍卒業飛行終る▲衆議院豫算案中長崎控訴院移轉費の外全部政府原案可決さる。

十二月二十五日 土曜、晴

▲露軍は波斯に於ける獨軍の根據地たるクマ市を占領す▲米國はアンコナ號擧沈に關し奧國に第二回抗議をなす。

十二月二十六日 日曜、晴

▲衆議院副議長花井卓藏辭任御聽許あり早速整爾第一候補に當選す▲雲南省獨立を宣せり。

十二月二十七日 月曜、晴

▲東宮殿下御遊幸の爲め沼津へ行啓あり▲貴族院豫算案上議衆議院追加豫算可決、共に本日を以て納會となる▲宮内省異動筆典長岩

合具綱、内匠頭片山東熊宮中顧問官に轉じ馬場三郎内匠頭に小原銚吉調度頭に任ぜられ入江東宮侍從長御歌所長を兼任す。

十二月二十八日 火曜、曇小雨

▲塞爾維王走りに伊太利に入る▲航路補助契約更新せらる期限は來年一月より二箇年とする。

十二月二十九日 水曜、高温六十度

▲臨時閣議を開き支那勸善後事を協議す▲四川省重慶獨立を宣言す▲伊國皇帝戰傷の飛報あり。

十二月三十日 木曜、晴

▲英國徵兵問題は益々紛糾しギービー卿の案は遂に失敗す▲印度軍佛國を引揚げ他方面の勤務につく。

十二月三十一日 金曜、晴

▲徵兵問題に關し英國内地動搖す▲南清革命に際し、岑春煊既に廣西に入る▲ルーゾベルト氏は共和黨より大統領候補者として立つに決せり。

大正五年

【又】過去三年

一月一日 土曜、曇雨

▲午後五時三十分四方拜▲大勳位以下親勳任官拜賀▲雲南軍四川會州に於て始めて官軍と接戦す▲英徵兵問題益々紛糾す。

一月二日 日曜、小雨

▲雲南軍四川に迫る▲英國裝甲巡洋艦ナルメ號擧發す▲露軍ブコウイナ方面に於て新に活動入る。

一月三日 月曜、晴

▲元始祭▲英國汽船ヘルシヤ號聖羅山港外に於て雷水雷の爲め擧沈する▲相撲稽古始▲東宮御書始。

一月四日 火曜、晴

▲宮中政始式行はる。各官廳御用始▲文學博士芳賀矢一法學博士富井政章及土屋弘來る十二日御講書始進講仰付らる▲三澤元衡、早川千吉郎、幸田口元學、三宅秀、佐々木正藏等其他學者實業家十數名を敘位叙勳さる▲英國内務大臣シモン辭職せり▲滄澤男及山脇桑博事務官長歸朝す。

一月五日 水曜、晴

▲宮中新年宴會に聖上陛下豐明殿に出御し内外百官に宴を賜ふ▲大相撲春場所新番附發表

一月六日 木曜、晴

▲英國強制徵兵法案下院へ提出さる▲消防出初式あり。

一月七日 金曜、晴

▲淳宮高松宮兩殿下小田原御用邸に御遊幸遊ばさる▲四分利附英國公債五百萬圓買入銷却公示さる▲生絲上一番一躍四十圓高千九十九圓に昇る。

一月八日 土曜、晴

▲陸軍始親兵式を宮城二重橋前に舉行さる▲英國の強制徵兵法案下院を通過す▲藤波言忠子主馬頭を辭職して貴族院議員に任ぜられ、陸軍中將遊谷在明其後を襲ふ。

一月九日 日曜、曇夜雨

▲四川省に於て一部兵士革命に加はり官軍を襲撃せり▲講道館開式を行ふ。

一月十日 月曜、半晴

▲英國戰艦「キング」エドワード七世水雷に觸れ沈没したり▲南洋より歸着の水兵糧積港にて解船願置し、一等兵費十名溺死す▲相撲年寄雷權大夫引退披露す。

一月十一日 火曜、晴

▲露國特派使節ケオルギー、ミハエルウイツナ大公殿下に御上陸遊ばさる。▲樞密顧問官子爵高島綱之助氏昨日伏見にて薨去す。

一月二十二日 水曜、晴

▲露大公殿下御入京遊ばされ、聖上陛下東京驛に御親迎あらせらる。午後大公殿下参内して國書捧呈、畢つて豊明殿に夜宴を開かる。▲所澤に於て新造飛行機飛行中發火焼失。

一月二十三日 木曜、晴

▲天皇陛下下ケ關離宮に露大公殿下を御訪問あらせらる。大公殿下は青山御所へ何候し各宮邸を御歴訪あり。▲昨夜深更牛込山吹町に於て大隈首相の歸路を擁し、自動車に爆弾を投じたる凶漢あり、首相無事。▲小松原英太郎樞密顧問官に任ぜらる。

一月二十四日 金曜、晴

▲御講書始を行はる。▲春場所大相撲の初日なり。▲英國強制募兵案に對し下院反對者僅かに三十九名を以て二讀會を通過す。

一月二十五日 土曜、晴

▲帝國政府支那特派使節周自齊の來朝を拒絶せり。▲十三日エルバソに於て前墨國大統領ウエルタ逝去す。▲雄飛號今夜所澤を出發し、大阪に向ふ。

一月十六日 日曜、晴

▲露大公殿下日光御遊覽に御出發あらせらる。▲飛行船雄飛號故障を生じ熱海より引返す。

一月十七日 月曜、晴

▲貴族院開議、追加豫算に就き質問後委員附托となる。▲雲南軍四省合州を占領す。

一月十八日 火曜、晴

▲歌御會始。貴族院豫算總會開議。▲黒山國境の講和提議を斥く。▲飛行船雄飛號今夜再び大阪へ向け出發す。

一月十九日 水曜、晴

▲大禮裁伏見宮殿下に菊花頭飾を賜ふ。以下職員叙勳さる。▲中正會代議士岡部次郎海軍省參政官に任ぜらる。▲第四期飛行將校所澤小田原間の卒業飛行第一日。▲大隈首相要撃犯人福田等四人逮捕さる。

一月二十日 木曜、晴

▲露大公殿下御告別御参内遊ばされ、鳳凰の間にて午餐會を開かせられ、聖上更に霞ヶ關離宮に御答訪遊ばさる。▲皇后宮青島役負傷下士卒へ義肢賜下あり。▲月蝕。

一月二十一日 金曜、晴

▲露國大公殿下御退京遊ばさる。▲支那に帝制延期の第三次勸告發電さる。▲數々出發を中止せし雄飛號本日愈々大阪へ向ふ。

▲支那政府及列國に對し帝政延期を通告す。▲衆議院開議。▲雄飛號大阪に着す。

一月二十二日 土曜、晴

▲澄宮崇仁親王御参内。▲露大公殿下御入洛遊ばさる。▲小田原にて飛行機二機旋風の爲め破壊さる。▲大相撲千秋樂。

一月二十四日 月曜、晴

▲露軍大に高架索方面に勝ち、エルセルムに迫れり。▲黒山國王里昂へ向へり。

一月二十五日 火曜、晴

▲英國徵兵法案大多數を以て下院を通過す。▲英貨鐵道證券三十萬七千六百四磅買入銷却告示。

一月二十六日 水曜、晴

▲廿四日を以て日置公使より我第三次通告支那政府に致さる。▲男爵樞密顧問官に任ぜらる。▲東洋第一と稱せらるる横須賀工廠第五船渠開渠式行はる。

一月二十七日 木曜、晴

▲戸山學校卒業式に聖上行幸遊ばさる。▲英國徵兵案上院第二讀會を通過す。▲大場代議士衆議院へ演説罪檢舉に關する上奏案を提出す。

一月二十八日 金曜、晴

▲聖上陛下御遊覽の爲め葉山御用邸へ行幸あらせらる。▲露大公宮島發歸國の途に就かる。▲岩倉館入京す。▲富士裾野の近衛團團に參加せし飛行機着陸の際大破す。

一月二十九日 土曜、晴

▲貴族院豫算第一分科會兵器實用に關し經理方法失當の附帶決議す。▲英國労働黨大會に於て自黨員の内閣に止まるを可とすとの決議可決す。

一月三十日 日曜、晴

▲佛境獨軍猛烈なる攻撃に出で、アルトア方面最も活潑なり。▲松田正久男銅像除幕式を行ふ。▲羅馬法王特使ベトリリ、僧正長崎に着す。

一月三十一日 月曜、晴

▲日支銀行滿洲銀行法案衆議院へ提出さる。▲獨逸飛行船巴里を襲ひ、即死二十四名を生ぜり。▲飛行家ナイルズ滋賀縣沖の原にて一萬八百呎の高度に上る。

二月一日 火曜、曇

▲貴族院臨時軍事費等追加豫算可決す。▲支那貴州一月二十七日獨立を宣言せり。▲被撃沈船八阪丸乗員神戸に歸着す。

二月二日 水曜、晴

▲羅馬法皇特使ベトリリ大僧正入京す。

二月三日 木曜、晴

▲羅馬特使謁見のため聖上葉山より還幸千種の間にて午餐會且つ特使へ叙勳の御沙汰あり。更に葉山へ行幸。▲米實收高發表半年作より八分九厘増收。

二月四日 金曜、晴

▲露國首相ゴロムキン辭職す。ツルメル其後を襲へり。▲節分。

二月八日 火曜、晴

▲皇后陛下澄宮殿下御同伴にて葉山へ行啓あり。▲樞密顧問官加藤弘之男薨去す。

二月十日 木曜、晴

▲聖上陛下には紀元節御祭典の爲め本日御歸京遊ばさる。▲ルシタニア號問題に關する米獨の交渉落着す。

二月十一日 金曜、晴

▲紀元節。▲米國陸軍長官ガリソン氏辭職す。

二月十二日 土曜、晴

▲獨逸講和を白耳義に提議し拒絶する處となる。▲伊集院彦吉駐伊特命全權大使に任ぜらる。

二月十三日 日曜、晴

▲聖上陛下再び葉山へ行幸あり。▲露國戰勢稍や活潑。露軍コソノ附近の重要高地を占領せり。

二月十五日 火曜、晴

▲英國愈々徵兵令實施に着手せり。▲新任伊國大使コツキ、エルボソソ着京す。▲駒場農科大學水産學教室焼失。

二月十七日 木曜、晴

▲四萬三千七百餘人に對する恩赦發表さる。

二月十八日 金曜、曇夜微雨

▲陸軍大將川村景明臺灣特命檢閱使仰付らる。▲日本及伊國も亦協商國と共に白耳義の獨立證明に參加せり。

二月二十日 日曜、晴

▲葉山御遊覽中の聖上陛下金澤を御遊覽あらせらる。▲和蘭アルメラント堤防決壊全市海水に浸さる。

二月二十二日 火曜、雪、後晴

▲衆議院の所謂妥協案たる二千萬圓公債發行案可決さる▲夜來の雪曉に至りて止む積むこと八寸。

二月二十三日 水曜、曇、後雨 ▲青島戦後行賞一部發表さる ▲製鐵所擴張案貴族院を通過す ▲英國下院四億二千萬磅の新軍事費を可決す。

二月二十四日 水曜、夜來の雨朝霽る ▲海軍第二回行賞發表さる ▲大總統命令を以て帝制延期を宣布す。

二月二十五日 金曜、晴 ▲ケエルゲン方面獨軍頻りに強行突破に力め惡戦繼續中なり ▲大藏省證券六百萬圓發行さる。

二月二十六日 土曜、曇夜雨 ▲日獨戦第一次行賞發表終る。

二月二十七日 日曜、晴 ▲福岡縣田川郡三井炭坑瓦斯爆發し工夫十數名死傷す。

二月二十八日 月曜、夜雨 ▲帝國議會最終日 ▲ケエルゲンの攻防戦尙繼續佛軍下ナウモン砲臺を奪還せり。

二月二十九日 火曜、豪雨

▲帝國議會閉院式を舉行す ▲暴風の爲め小田原に於て漁船數十艘漂流し乗員百餘名行方不明なり。

三月一日 水曜、晴 ▲明治神宮本堂會事業補助し兩陛下より三十萬圓御下賜さる ▲ケエルゲン戦激烈に繼續す土軍トレビツンドを撤退す ▲政友會議員總會、山本達雄、岡崎邦輔、床次竹二郎總務委員に、江藤督藏幹事長となる。

三月二日 木曜、晴 ▲臺灣共進會へ開院宮殿下差遣の御沙汰あり ▲ケエルゲン慘戦に佛軍三哩退却し、獨葡國交危殆に瀕す ▲中學五年級修業日數二十日短縮する。

三月三日 金曜、晴 ▲保險料率引上決定により、ケープタウンに停留中なりし諏訪丸愈々歐洲へ出發す。

三月四日 土曜、晴夜小雨 ▲安廣伴一郎樞密顧問官に任ぜらる ▲羅尼國皇太后崩御す。

三月五日 日曜、晴 ▲露軍アルメニアのピトリスを占領す ▲支那北軍叙州を回復す。

三月六日 月曜、曇 ▲電車乗賃値上案東京市會上議さる ▲ケエルゲン攻撃激烈に繼續し、ドーモン村落獨軍に奪はる。

三月七日 火曜、晴 ▲本日の内閣會議に於て帝國は支那動亂に鑑み更に新發動を爲すに決せり。

三月八日 水曜、晴 ▲日獨戦第二次陸海軍行賞發表さる ▲獨軍ミューズの四方フォース村落を占領す。

三月九日 木曜、曇 ▲陸海軍行賞引續き發表さる ▲土國陸相エンヴァパシヤ逝去す ▲倫敦銅相場更に暴落し、電氣銅は十磅安。

三月十日 金曜、晴 ▲獨逸は葡國に對し宣戰を布告したり ▲露獨高架索方面にリセ市を波斯方面にコラ市を占領す ▲電車値上案委員會にて原案を可決す。

三月十一日 土曜、雪後晴 ▲男爵議員補選に船越光之丞當選す ▲支那駐在露國公使クルバンスキー日本大使に任命さる ▲屢々値上を行ひたる石油又々五十錢高となる。

三月十二日 日曜、晴

▲ケエルゲン方面ケルボー森林の爭戰戦獨激烈なり米國に没入せし墨國兵米兵に追撃され死傷數百名を出す ▲支那南軍湖南の武岡乾城を占領す。

三月十三日 曇、小雨 ▲白耳義公使陸奥廣吉依願本官を免ぜらる ▲生絲上一番千三百圓に上る。

三月十四日 火曜、小雨微雪 ▲廣東省順德に動亂起る ▲勃兵羅馬尼船を砲撃し、彼我死傷多し ▲征獨戰參加陸軍航空隊の行賞發表さる。

三月十五日 水曜、雨、小雪 ▲外務省は英艦の邦船臨檢事件顛末を發表す ▲八阪丸船長山脇武夫等叙勳さる ▲電車乗賃値上案昨夜市會に於て可決する。

三月十六日 木曜、曇、小雨 ▲米國遠征軍ウイラ將軍を追うて墨國に入りカランザ軍之に合す ▲同志會は第卅七議會報告書を發表す。

三月十七日 金曜、晴、夜雪 ▲獨逸海相チルシツツ罷め、ファン、カベル其後を襲ふ ▲夜警雷初めて鳴り雪之に伴ふ。

三月十八日 土曜、小雨後晴

▲廣西省愈獨立を宣言す ▲臺灣六三繼續法及海軍航空隊新設令等公布さる ▲米國飛行家スミス來朝す。

三月十九日 日曜、晴 ▲聖上皇后兩陛下葉山御用邸より宮城へ還御し給ふ ▲世論を惹起せし邦船臨檢問題解決し英船支那海を退去し我邦に海上警備を託することとなり ▲信州燒嶽爆發す。

三月二十日 月曜、晴 ▲露國內相フオーストウ辭職し首相之を兼攝す ▲帝都訪問の海軍飛行機芝明町民家に墜落し頓宮大尉阿部中尉慘死す ▲海軍水産博覽會開會さる。

三月二十一日 火曜、晴 ▲春季皇覽祭 ▲聯合軍側飛行機六十五臺セーブルゲートを襲ひ、又上部アルサスに於て彼我五十機の大合戦あり。

三月二十二日 水曜、晴 ▲墨國叛將ウイラ益々窮す。

三月二十三日 木曜、朝小雨雪、晴 ▲政友會第三十七議會報告書を發表す。

三月二十四日 金曜、晴

三月二十五日 土曜、晴

▲新任伊國大使信任状を捧呈す ▲段祺瑞征討軍總司令を辭し、參謀總長に任ぜらる ▲米國下院陸軍正規兵を十四萬に増加すとの政府案可決さる。

三月二十六日 日曜、晴 ▲支那南軍四川省に納溪及南溪を回復し、湖南に永順と慈利を占領す ▲英船スセツク及イングリッシュマン撃沈され乗組米人行方不明となる。

三月二十七日 月曜、晴 ▲皇后陛下學習院女學部卒業式に臨啓し給ふ ▲英國水上飛行機獨逸北海岸を襲撃す。

三月二十八日 火曜、晴 ▲露國に讓渡すべき宗谷以下二隻吳發浦艦に向ふ ▲故金玉均二十三回忌法會を営む ▲大阪併廢收容所火災に罹る。

三月二十九日 水曜、晴 ▲皇后陛下伊勢神宮神武天皇陵御參拜の爲東京を御出發遊ばる ▲露軍ヤコブスタット方面に攻勢頗る有利なり。

三月三十日 木曜、好晴
▲中將大島健一陸軍大臣に新任岡岡市之助依願免官となる▲巴里に於ける聯合七國大會は最後の勝利迄繰りすべく決議す▲露國へ讓渡の三艦代償協定成立す。

三月三十一日 金曜、曇
▲聖上陛下下學醫院卒業式に行幸あり▲皇后陛下下伊勢神宮に御参拜し給ふ▲軍務局長山田隆一陸軍次官に任ぜられ、青島軍參謀長奈良武次軍務局長に補せらる。

四月一日 土曜、雨、後曇
▲聖上陛下下神武山陵二千五百年式年祭御親祭の爲大和へ行幸今夜名古屋へ御駐泊遊ばさる▲皇后陛下山田御出發奈良へ還御し給ふ▲昨地洋丸香港沖合にて坐礁す。

四月二日 日曜、晴
▲聖上陛下下奈良へ著御▲東宮殿下御西御見學の爲め京都を御出發遊ばさる▲早稻田大學陸上運動會を行ふ。

四月三日 月曜、晴
▲神武天皇祭、袁總統は君主國體案取消の旨公布す▲獨飛行船は英國東北沿岸を襲撃し若干の死傷者を出せり。

四月四日 火曜、半晴、強風
▲聖上皇后兩陛下下正倉院へ臨御し給ふ▲露國へ讓渡の相模、丹後、宗谷三艦浦鹽に授受さる。

四月五日 水曜、晴
▲聖上皇后兩陛下下奈良御出發、聖上熱田神宮に参拜皇后宮京都に御入らせらる▲ウエルダ方面獨軍の攻撃猶猛烈ウオージュ河北岸を放棄しウオ一村西部を奪還せり。

四月六日 木曜、晴
▲天皇陛下下奈良より還御、京都御駐輿中の皇后陛下伏見桃山兩御陵、泉涌寺御陵及東福寺へ御参拜あらせらる▲東宮殿下武庫離宮より大阪へ行啓遊ばさる。

四月七日 金曜、晴
▲廣東愈々獨立を宣言せり。▲鐵道債券四千萬圓發行統公布さる▲ウエルダン戰術來佛國側に有利の形勢に進行す。

四月八日 土曜、晴
▲米國飛行家アト、ミス青山練兵場に曲乘飛行を試む▲陸軍第四期飛行將校所澤靜阿間の卒業飛行を開始す▲灌佛會。

▲東宮殿下帝都に還御遊ばさる▲袁總統遂に南方の要求を容る、旨回答せりとの説あり。

四月十日 日曜、曇、烈風
▲皇后陛下下還啓遊ばさる▲全師團長會議開る▲青山練兵場にてミス三十餘米突の風速中に數回の曲乘を行ふ。

四月十一日 火曜、晴
▲故江藤新平以下八名贈位さる。支那南方將軍蔡錕北軍と一ヶ月の休戦を約す。

四月十二日 水曜、晴
▲浙江省獨立を宣言せり▲ニカラガハ國議會は運河開鑿權及び石炭供給所設置權を米國に與ふるの條約を批准せり。

四月十三日 木曜、曇
▲上海杭州共に獨立せり▲會計検査院長及行政裁判所長官親任勅令公布實施さる。

四月十四日 金曜、曇、後雨
▲元帥長谷川好道第一、陸軍大將載仁親王第二、同澤田信興第三の各々特命檢閱使被仰付▲江西省及江蘇省内鎮江揚州は獨立を宣言す。

四月十五日 土曜、雨
▲袁總統退位の意を決せり▲聯合國經濟會議洋郵船會社を把握せり。

四月十八日 日曜、曇、晴
▲閣院宮同妃兩殿下著海より御歸京遊ばさる▲メソポタミアに苦戦中なりし英將タウンセムド土軍に降服せり▲露大使歸國の途に就く

四月十九日 月曜、晴、曇
▲愛蘭暴徒降伏せり▲歐洲經濟會議派遣委員長阪谷男一行出發す。

四月二十日 火曜、晴
▲豐明殿に於て前伊國大使グイツナヨリ侯に宴を賜ふ▲陸軍進級異動發表され、武田三郎、福田雅太郎、堀内文次郎等中將に進む。

四月二十一日 水曜、晴
▲四ヶ年内を期とする比律賓島獨立案は米國下院委員會に否決せられ、無期限のジョーシ

参判臨時職員設置、男阪谷芳郎委員長被仰付。

四月十六日 日曜、曇
▲聖上陛下下伏見宮邸に臨幸遊ばされ演能天覽あらせらる▲閉塞中なりし巴奈馬運河開通す。

四月十七日 月曜、曇
▲解任歸國の露國大使マンウイツチ参内禮明殿に宴を賜ふ▲墨國叛將ウイラ死すとの風説あり。

四月十八日 火曜、晴
▲陝西省西安獨立を宣言し上海江陰砲臺亦叛す▲新設朝鮮師團歩兵第七十三聯隊以下六聯隊へ軍旗授式を行ふ。

四月十九日 水曜、晴
▲濱離宮觀禮御會を催され兩陛下下臨遊ばさる▲露軍トレンド堡壘を占領す。

四月二十日 木曜、晴
▲米國殆ど最後通牒と見る對獨警告を發す▲英國内閣徵兵問題のため危機を速め下院又停會となる▲南京中立を宣言す▲支那公使陸宗輿退京歸國す。

四月二十一日 金曜、曇
▲露軍の一隊佛國馬耳塞に上陸せり▲破裂の

俣ありし英國内閣の危機去れり▲四川將軍陳宦と蔡錕との妥協交渉破れ、南方諸將連署して袁の退位を迫る。

四月二十二日 土曜、夜小雨
▲徐世昌新責任内閣を引受け袁總統は新總理に國務統轄權附與の申令を發す▲珍田駐米大使移民法案に就いて抗議す。

四月二十三日 日曜、曇、小雨
▲徐世昌内閣辭職段祺瑞國務卿に任命さる▲獨逸のフォン、デル、ゴルト元帥逝去す。

四月二十四日 月曜、晴
▲段祺瑞内閣々員任命發表さる▲支那北軍運送船軍艦と衝突沈没乗組員千餘名溺死す。

四月二十五日 火曜、曇、小雨
▲經濟調査會官制公布同委員任命さる▲長野縣補缺選舉開票中正會風聞補助當選す。

四月二十六日 水曜、曇
▲澄宮殿下御着初式▲英國愛蘭ダブリンに暴動勃發し事態容易ならず▲獨逸巡洋艦英東海岸を襲撃す。

四月二十七日 木曜、曇
▲皇后陛下下野に開會の日本美術協會展覽會へ行啓さる▲米國々際同盟は國際商船及太平

案通過せり。袁總統は拱衛軍を段國務卿に引渡すことを承諾せり。

五月四日 木曜、雷鳴驟雨
▲英國強制兵役法案下院第一讀會通過し、愛爾事務大臣ビルレル辭職す。

五月五日 金曜、晴
▲聖上皇后兩陛下海軍博覽會へ行幸啓遊ばさる。協力して匪徒驅逐後軍隊撤退の米墨交渉成立す。

五月六日 土曜、晴
▲日本赤十字社第二十四回總會、皇后陛下御臨遊ばさる。▲東久通宮紀子殿下王子御分媛あらせらる。▲強制徵兵案英國下院二讀會を通過せり。▲獨逸は潛航艇問題に關する米國の通牒に回答せり。

五月七日 日曜、風雨
▲飛行家スミス氏奈良に於て豪雨中逆轉飛行をなす。▲ウエルダンの併軍攻撃に轉ず。

五月八日 月曜、晴
▲湖北四川兩省及福建省の厦門獨立を宣言す。

五月九日 火曜、晴
▲獨軍再びウエルダンの強攻を開始す。▲米國獨逸の回答を容れたり。▲雲貴兩廣聯合政府成立す。

立す。

五月十日 水曜、晴
▲地方長官會開會さる。

五月十一日 木曜、晴
▲革命軍廣東に中央政府を樹立し、黎元洪を大總統兼陸軍司令長官に唐繼堯を内閣議長に岑春煊を副議長に擧げたり。▲大相撲番附發表さる。

五月十二日 金曜、晴
▲東久通宮裕彦王子王子盛厚と御命名遊ばさる。▲福島縣下本郷町に大火あり。

五月十三日 土曜、晴
▲皇后陛下東京慈善會總會へ行啓あり。▲支那政府中國交通兩銀行の兌換停止を命ず。▲赤十字社救護院歸京す。

五月十四日 日曜、晴
▲獨逸マイハイムに食糧缺乏の爲め暴動起り。▲大阪に於て飛行家スミス氏群衆の投石の爲めに負傷、飛行機にて遁る。

五月十五日 月曜、晴
▲高松地方裁判所に於て演職事件に對し檢事の論告あり。京都帝國大學附屬病院に火災起る。

五月十六日 火曜、晴
▲皇后宮には陸海軍將校婦人會創立十年記念式へ臨啓せらる。▲伊達伯家にては本日より歳品を入札す。▲前田侯夫人渡歐せらる。

五月十七日 水曜、雨
▲全國警察部長會議開かる。

五月十八日 木曜、雨
▲東京大相撲五月場所の初日。▲露軍小亞細亞に土軍を脅威す。

五月十九日 金曜、曇
▲湖南省郴州獨立し陳其美上海に於て暗殺せらる。▲大相撲二日目兩國精悍なるも太刀の敵に非ず。

五月二十日 土曜、曇雨
▲聖上陛下經理學校卒業式に臨幸せらる。▲大相撲三日目栃木大蛇を屠る。

五月二十一日 日曜、曇
▲東宮淳宮高松宮三殿下御見學の爲め横須賀へ行啓ありたり。▲米國陸軍擴張案愈兩院に通過す。

五月二十二日 月曜、曇
▲新任露國大使着京せり。▲福田和五郎等の首相狙撃事件公開廷す。

五月二十三日 火曜、晴
▲ウエルダン大激戦あり佛軍の逆襲成功す。▲南京會議の二年間留任を決議す。▲東京市電車賃値上申請許可せらる。▲前樺太廳長官平岡氏無罪を宣告さる。

五月二十四日 水曜、曇夜雨
▲皇后宮愛國婦人會第十五總會に臨啓あり。▲大相撲七日目の海大月平に敗る。

五月二十五日 木曜、小雨風強し
▲文武官華族三百三十餘名定期叙勳、五博士勳一等に叙せらる。▲大相撲八日目横綱太刀柄木に敗れ大錦朝潮を屠り西の土附す眞砂石字都宮に倒さる。

五月二十六日 金曜、曇後晴
▲天皇陛下陸軍士官學校卒業式に臨御あらせらる。▲曹洞宗永平寺移董日置黙仙師に當選す。▲大相撲九日伊勢九州に負。

五月二十七日 土曜、雨
▲同志會にては東京支部大會を舉行す。▲日本海々戦第十一回記念日。

五月二十八日 日曜、晴
▲袁世凱重病なりとの報來る。▲大相撲千秋樂西軍勝星二十五、實に四年六場所を経て始め

五月二十九日 月曜、晴
▲北海道鐵道一千哩敷設祝賀會を札幌に開催す。▲海軍航空隊追濱清水港開卒業飛行を開始せり。

五月三十日 火曜、晴
▲聖上陛下中央幼年學校卒業式へ臨御せらる。▲米國鐵道王ジョエムメ、ヒル逝く。▲濟生會病院開院式を舉行す。

五月三十一日 水曜、晴
▲工場法施行期六月一日を九月一日に延期の勅令公布せらる。▲停會中なりし露國議會再開せらる。

六月一日 木曜、晴
▲日本海員救濟會は第三十五回總會を兩國々技館に開催、東伏見宮依仁親王殿下御臨臨ありたり。▲海軍佐尉官及下士卒の行賞發表せらる。▲濠洲羊毛日本輸出解禁せらる。

六月二日 金曜、晴
▲新潟縣知事坂仲輔依願免官、栃木縣知事北川信從其後を襲ひ、兵庫縣内務部長平塚弘義、栃木縣知事に任ぜらる。

六月三日 土曜、晴
▲新露國大使クルムンスキー氏參内信任狀を捧呈す。▲丁抹津に於ける英獨海軍兩國の戦艦損害の確報あり。▲スミス氏青山に帝都秩別飛行を開會す。

六月四日 日曜、晴
▲獨軍は全力を以てウエルダンウォー要塞攻撃すとの報あり。

六月五日 月曜、晴
▲スミス氏始めて東京に夜間飛行をなす。▲印度詩聖ラビンドラナートタゴール氏入京せり。▲岡大尉所澤に於て宙返飛行を敢行し墜落す。▲演職事件判決あり、林田龜太郎罰金板倉以下十三人懲役に處せらる。

下海軍將官に行賞あり ▲袁總統最後の告令發表、拱衛軍段祺瑞の手に歸す。

▲六月九日 金曜、晴 ▲北京天津在留の内外人保護の爲め柳樹屯より一個大隊の兵を派遣せらる。

▲六月十日 土曜、晴

▲三浦子爵に於ける三黨首協定覺書各黨員會に於て發表せらる ▲ウエルゲンヴァー堡壘遂に獨軍に奪取せらる、一方露軍頗る振ひ既にルツクを占領しストリバ河に接近せり。

▲六月十一日 日曜、晴

▲米國共和黨大統領候補ヒュース同副フエアパンクス進歩黨大統領候補ルーズベルト同副バーカー選定せらる

▲六月十二日 月曜、晴

▲露軍東部ガリシヤに益々優勢、捕虜を得る事三萬五千、中に大將一名ありと ▲支那總統直屬陸海軍統率辦事所廢止さる。

▲六月十三日 火曜、晴

▲珍田捨巳英國大使に轉じ佐藤愛蔵駐米大使後任仰付らる ▲林大使伊國より歸朝せり

▲六月十四日 水曜、晴夜雨

▲獨軍悉戦して三二〇高地の佛陣地に突入せり

りとの報あり ▲支那政府は各省代表者會議を招集して新舊約定法の採擇を爲さしむ。

▲六月十五日 木曜、朝雨後晴夜強風

▲露軍ツエルノウイツチを包圍せりと ▲巴里經濟會議開始せりととの報あり。

▲六月十六日 金曜、晴強風

▲皇后陛下芝離宮に管絃樂を聞召さる。

▲六月十七日 土曜、晴

▲米國民主黨大統領候補にウイリスン氏同副にマリーシャ氏再選せりととの報あり。

▲六月十八日 日曜、晴

▲空中の狂者島人スミス氏札幌に於て墜落負傷せり。

▲六月十九日 月曜、晴

▲巴里經濟會議十七日終了せりととの報あり ▲獨逸前參謀總長モルトケ將軍逝去 ▲全國人口本土五十三萬三千五百人朝鮮樺太を併せ七千七百七十八萬人と發表せらる。

▲六月二十日 火曜、小雨後曇

▲米國兵を動員する十萬墨國又守持堅く國交斷絶迫れり ▲伊國聯合新内閣成り總理はボモリイ氏外務はソニンノ氏なりとの二報來る。

▲六月二十一日 水曜、晴夜雨

▲米國は墨國の撤兵要求を拒絶せり。

▲六月二十三日 金曜、晴

▲希臘内閣更迭ザイミス氏首相兼外相たりとの報來る。

▲六月二十四日 土曜、晴

▲陸軍大將寺内正毅伯は元帥の稱號を賜り、同中將神尾光臣大將に陞任せり。

▲六月二十五日 日曜、夜雨

▲地久節、淳宮殿下第十五回御誕辰。

▲六月二十六日 月曜、雨

▲米墨事實に於て交戰關係に入れりと報す。

▲六月二十七日 火曜、雨

▲飛行家ナイルス米國ウイスコンシン州に於て墜落して死す。

▲六月二十八日 水曜、雨

▲郵船大越丸西班牙バルセロナ沖にて獨漕航艇の爲めに撃沈せらるとの報あり。

▲六月二十九日 木曜、晴後曇

▲樞府御前會議、支那及西伯利亞に於ける日露攻守同盟協約議定 ▲章宗祥駐日支那公使に任命せらる。

▲六月三十日 金曜、曇

▲日露協約要項發表せらる ▲ムーズ河畔に於ける獨軍の損害五十萬に達すとの報あり。

大正五年八月二十日印刷
大正五年八月二十三日發行

版權
所有

編輯者 福田東作
東京市深川區西平野町壹番地

印刷者 伊藤武次郎
東京府豊多摩郡内藤新宿北裏町五十三番地

印刷所 日清印刷株式會社
東京市牛込區榎町七番地

東京市麴町區有樂町一丁目三番地(日比谷公園角)

發行所

每日通信社

電話新橋二四八五番
振替口座東京九八一五番

347
40

終